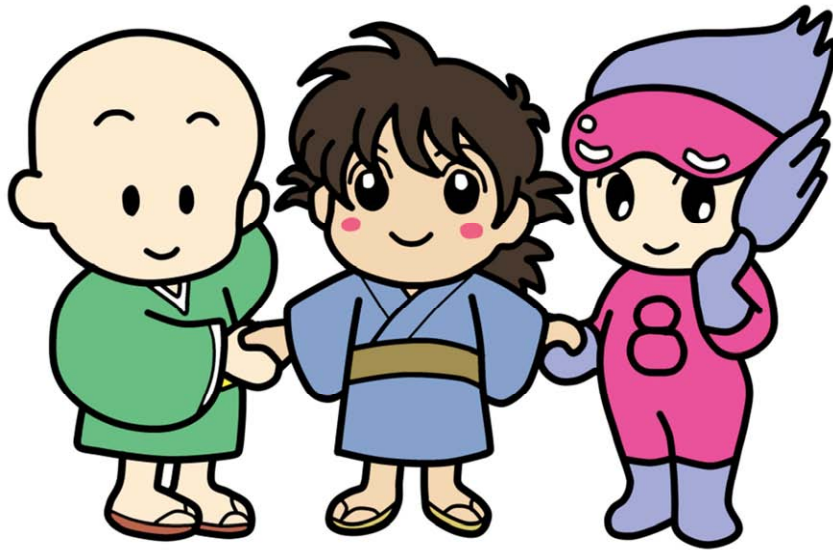


# 上郡町一般廃棄物処理基本計画



平成 29 年 3 月

上 郡 町

第1章	一般廃棄物処理計画見直しの基本的考え方	
第1節	計画の趣旨	1
第2節	計画の位置づけ	2
第3節	計画の範囲及び期間	3
第2章	上郡町の概要	
第1節	自然環境	6
第2節	人口・土地利用状況	7
第3節	産業	8
第3章	ごみ処理の現状把握	
第1節	ごみ処理の現状	9
第2節	ごみ排出量の推移	16
第3節	中間目標年度における評価と課題	21
第4節	システム評価	24
第5節	ごみの性状	25
第4章	基本フレームの検討	
第1節	循環型社会構築のための基本方針検討	26
第2節	計画目標年次の設定	26
第3節	人口の将来予測	27
第4節	ごみ排出量の将来予測	28
第5章	ごみ処理基本計画	
第1節	ごみ減量及び再資源化目標値の設定	29
第2節	計画推進方法	30
第6章	生活排水(し尿)処理基本計画	
第1節	現状の把握	32
第2節	基本計画	37
第3節	生活排水処理に関する取組	37

資料I ごみ排出量の将来推計

資料II 生活排水(し尿)の将来推計



## 第1章 一般廃棄物処理基本計画見直しの基本的考え方

### 第1節 計画策定の趣旨

一般廃棄物処理基本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）」に基づき、長期的・総合的視点に立って、計画的なごみ処理の推進を図るための基本方針となるもので、ごみの発生から最終処分に至るまでの適正な処理を進めるために必要な基本的事項を定めています。

上郡町（以下「本町」という。）においては、平成22年度に上郡町一般廃棄物処理基本計画（以下「本計画」という。）を策定し、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用・リサイクル：再生利用）の推進などを目標に掲げ、「排出抑制の推進」「リサイクル体制の構築・推進」「環境領域・普及啓発活動の推進」など様々な取組を実施しています。

計画は社会情勢の変化に対応するために、概ね5年毎に見直しを行うこととしています。見直しは国や県の計画などの進捗状況を踏まえて行うとともに、関連計画として「にしはりま環境事務組合」（本計画書では「組合」と略記します。）の計画と整合を図ります。

国においては、平成25年度に策定した「第三次循環型社会形成推進基本計画」の中で、再生利用に比べ取組が遅れている発生抑制・再使用の取組強化などを目標に掲げています。

兵庫県は、平成25年度に策定した「第4次兵庫県環境基本計画」の中で、廃棄物の発生抑制・再利用率の向上などの推進とともに、品目ごとの資源化・再利用についても推進していくこととしています。

組合は姫路市（安富地域）・たつの市（新宮地域）・宍粟市・上郡町・佐用町の3市2町で構成されており、にしはりまクリーンセンターの本格稼動に伴い、平成25年度より組合圏域のごみ収集区分が統一されました。また組合では同年に「一般廃棄物処理基本計画」を策定し、再使用・再資源化を進めることと環境負荷の低減を基本目標に掲げています。

本町における計画の見直しでは、これら国・県・組合の関連計画を踏まえ、より地域特性に応じた独自の施策などを盛り込むことで、地域の循環型社会形成をよりいっそう推進することを目指します。



## 第2節 計画の位置づけ

本計画の関連法令と関連計画を図 1-1 に示します。本町の計画は赤の二重線で囲まれた部分にあたります。国の「環境基本法（平成5年法律第91号）」並びに「循環型社会形成推進基本法（平成12年法律第110号）」の理念に即し、「廃棄物処理法」第6条第1項の規定に基づき、「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」や個別のリサイクル関連法令を踏まえた計画となっています。

なお、組合の計画では本町を含む3市2町のごみを広域的に処理する計画が策定され、特にごみの焼却やリサイクルなどの「中間処理」が中心となっています。本計画においてはごみの「収集運搬」及び「最終処分」を中心に、本町独自の取組や施策についての計画を策定します。

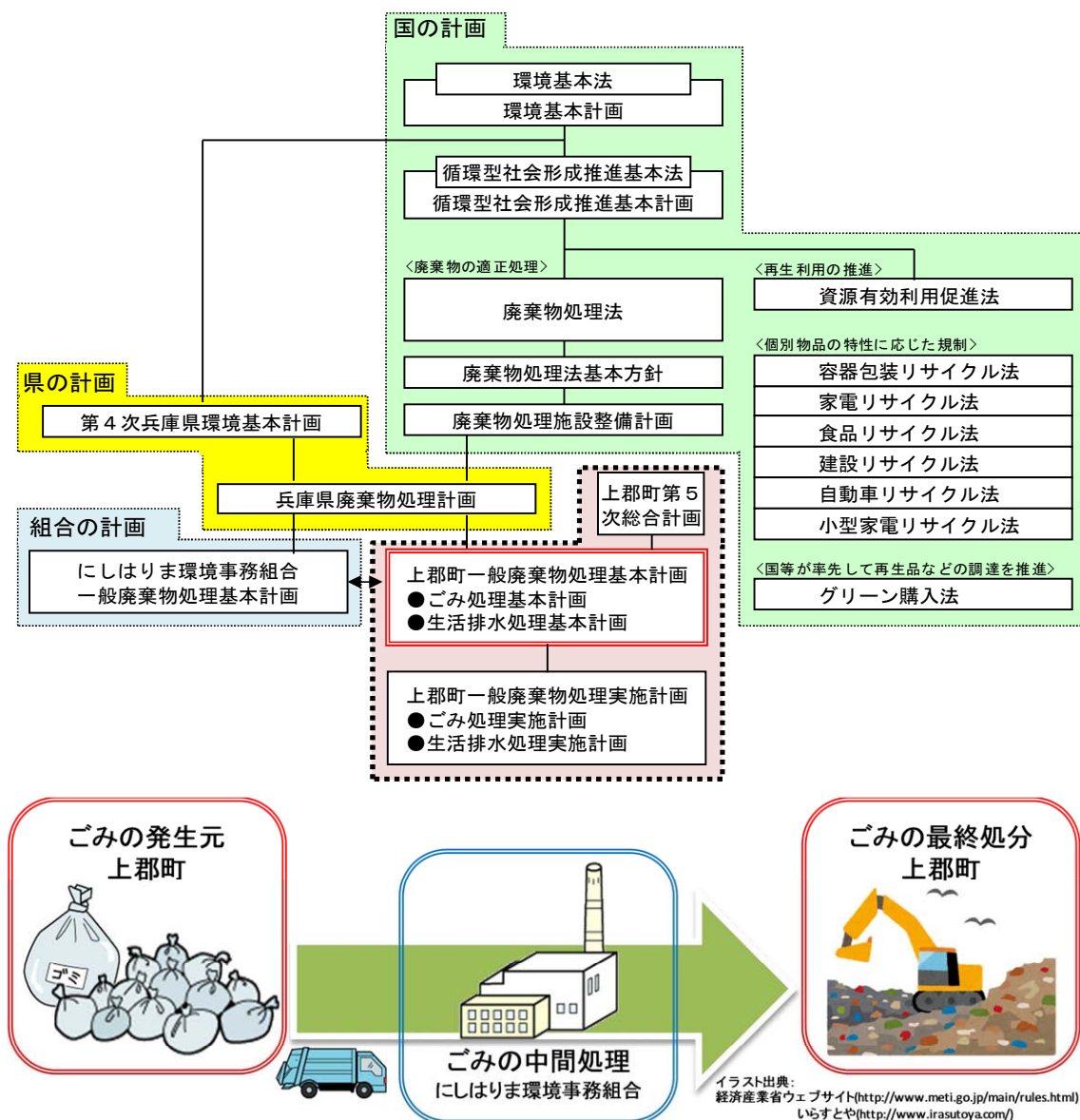


図 1-1 関連法令・関連計画の関係



### 第3節 計画の範囲及び期間

#### 1. 計画の対象区域

組合の計画対象区域は本町を含む組合圏域全域となっております。本計画の対象となる区域は本町の行政区域内全域とします。

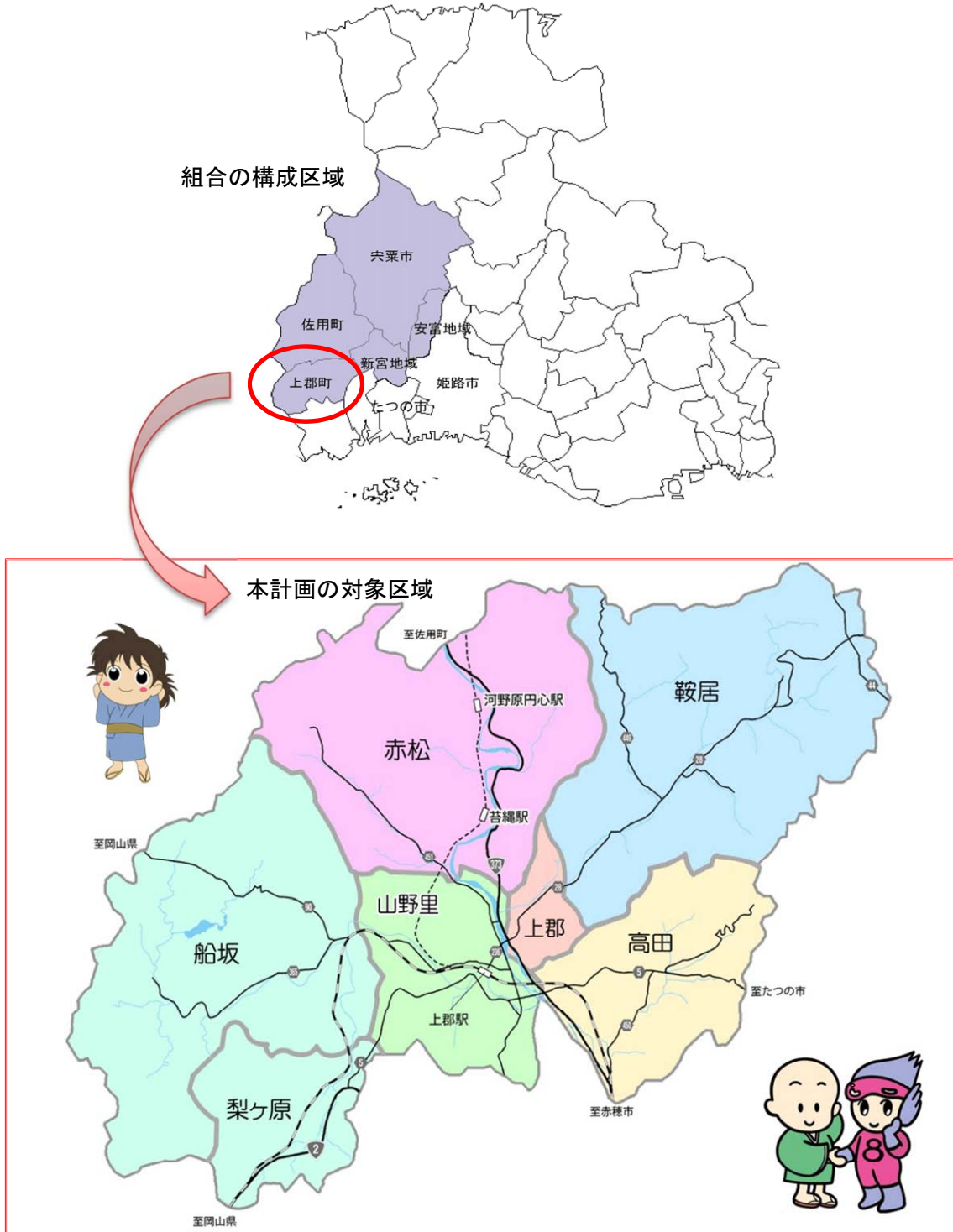


図 1-2 組合の構成区域と計画の対象区域



## 2. 計画の対象範囲

本計画が対象とする廃棄物の範囲は本町から発生する一般廃棄物とします。

廃棄物（ごみ）は産業廃棄物と一般廃棄物に分類されます。産業廃棄物は 20 種類※が指定されており、それ以外の全ての廃棄物が一般廃棄物となります。

産業廃棄物は事業者が自らの責任で適正に処理する必要があります。

廃棄物の呼称については、本計画では家庭系一般廃棄物を生活系ごみ、事業系一般廃棄物を事業系ごみとします。

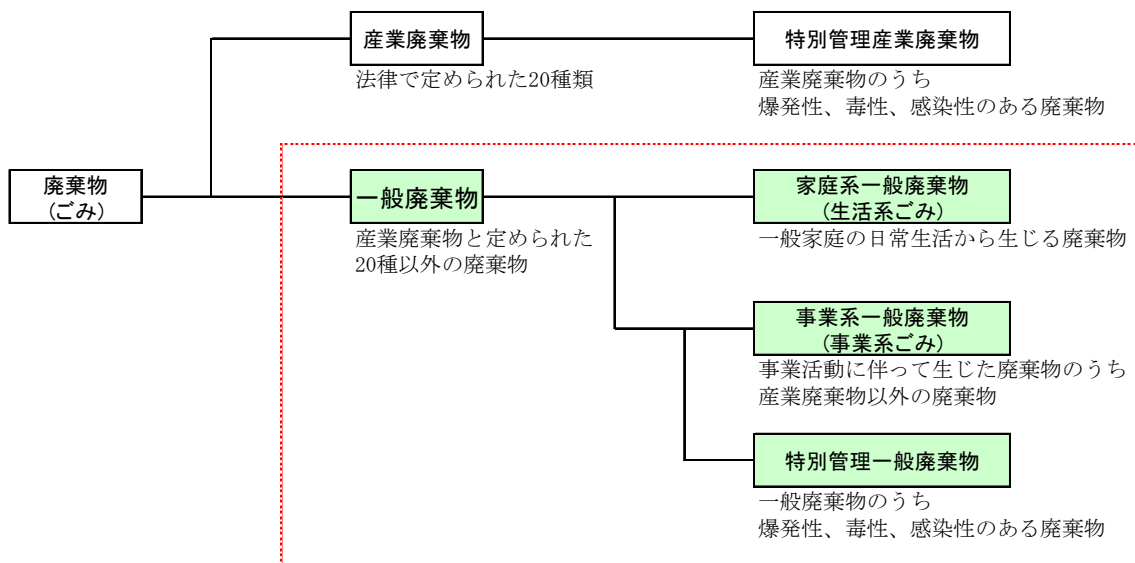


図 1-3 計画の対象範囲

### ※産業廃棄物…20 種類

あらゆる事業活動に伴うもの…12 種類

燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん

特定の事業活動に伴うもの…8 種類

紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、動物系固形不要物、動物の糞尿、動物の死体、以上の産業廃棄物を処分するために処理したもので、上記の産業廃棄物に該当しないもの（例えばコンクリート固形化物）



### 3. 計画の対象期間

本計画の計画期間を図 1-4 に示します。前計画では平成 19 年度を基準年度とし、15 年間で計画期間として定めていました。今回の見直しでは、平成 26 年度時点での中間評価を実施したうえで、新基準年度を新たに平成 27 年度と定め、そこから 15 年後の平成 42 年度を新たな長期目標年度と定めています。中間目標年度は前計画の長期目標年度と同じ平成 34 年度としています。

にしはりまクリーンセンターは平成 24 年度に試運転を行い、平成 25 年度から本格稼働しています。

計画は社会情勢や地域環境に大きな変化が生じた場合には、概ね 5 年を目処に必要なに応じて見直しを行います。

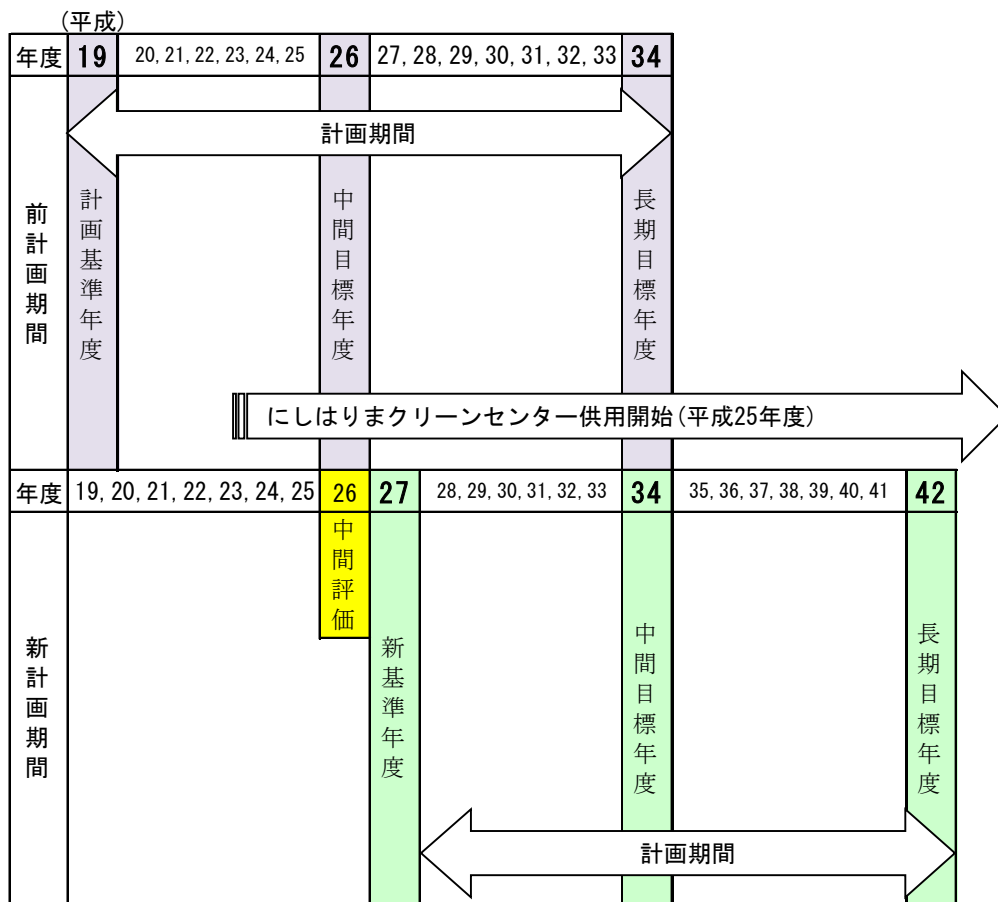


図 1-4 基準年度と目標年度及び計画期間





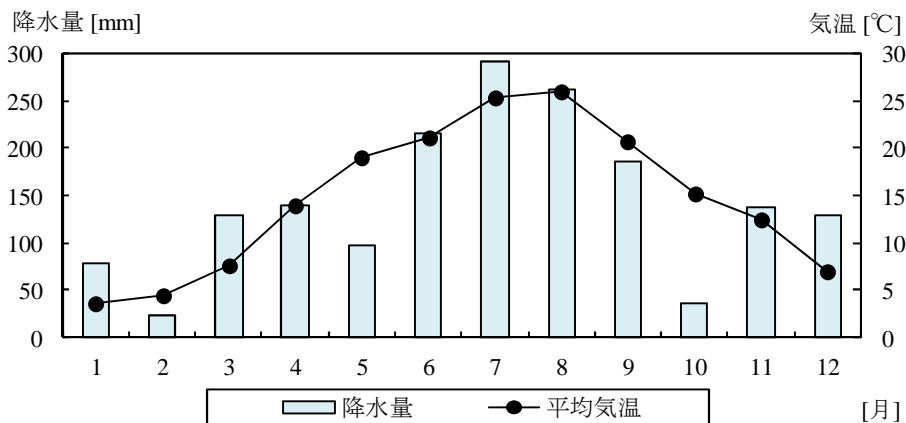
## 第2章 上郡町の概要

### 第1節 自然環境

本町は兵庫県の南西部にある西播磨地域に位置しており（図 2-1）、西側は岡山県の備前市に接しています。県庁所在地の神戸市までは鉄道で約 90km、姫路市までは約 35km の距離があります。気候は瀬戸内海気候の地域であり、温暖で寒暑の差はそれほど大きくなく、年間を通じて過ごしやすい地域です（図 2-2）。



図 2-1 上郡町の位置図



[出典] 上郡地域気象観測所（平成 27 年）

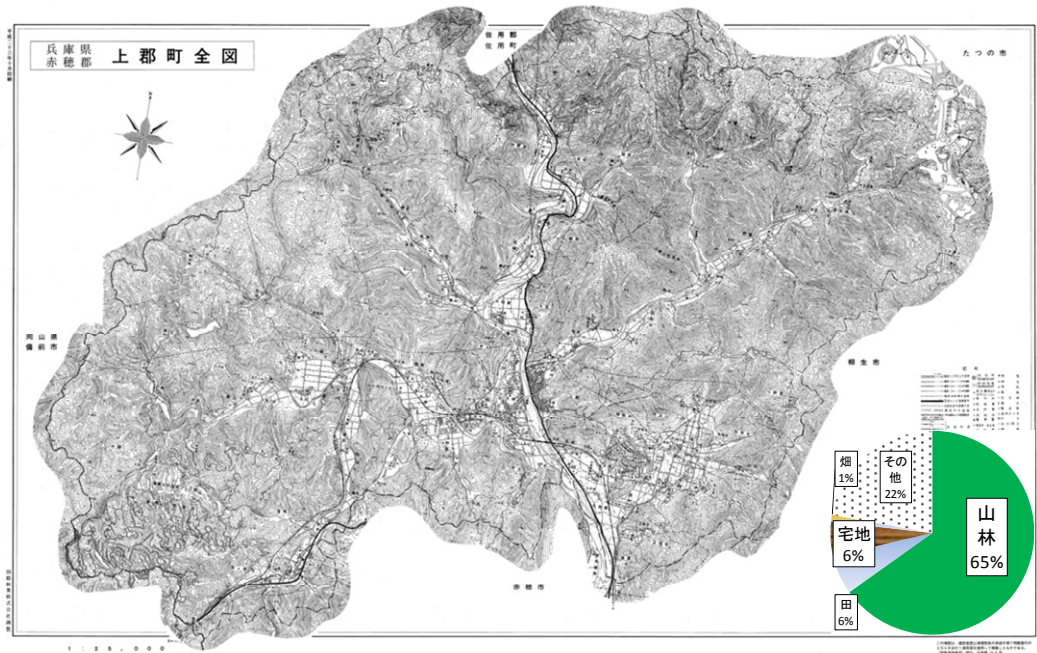
図 2-2 上郡町の気候





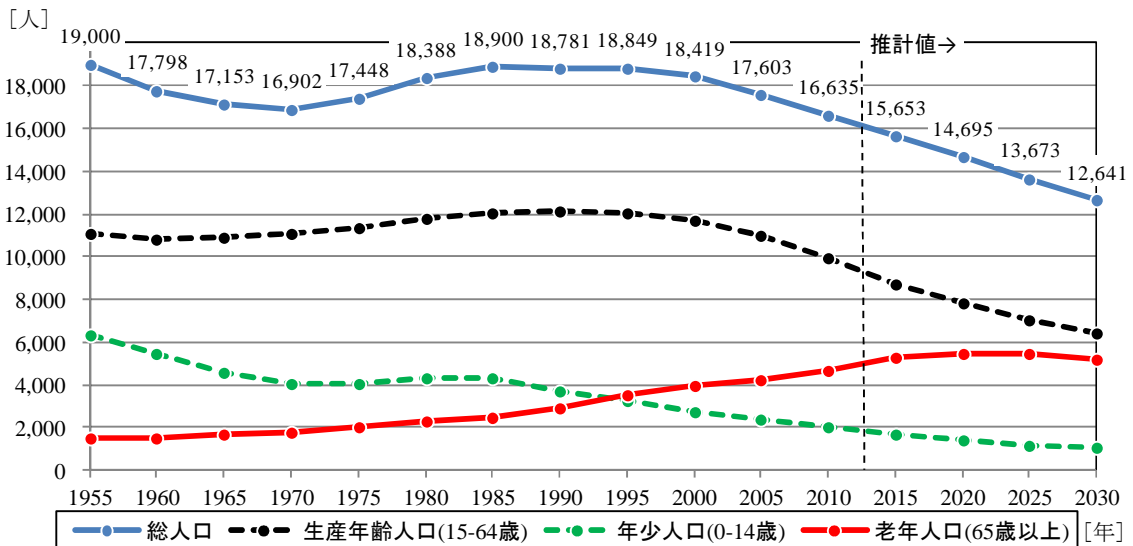
## 第2節 人口・土地利用状況

本町は山林が約 65%を占めており宅地や農地などは河川沿いに分布しています。本町の人口は約 16,000 人で、例えば、町民の皆様が毎日 850 グラムのごみを排出した場合、本町全体では年間約 5,000 トンの排出規模となります。また、皆様が毎日 50 グラムのごみを削減した場合、本町全体では年間約 300 トンの削減規模となります。



[出典] 上郡町統計資料（平成 27 年度 上郡町税務課）

図 2-3 上郡町の 1/25000 地図と土地利用状況



[出典] 上郡町人口ビジョン（平成 27 年 10 月 上郡町）

図 2-4 上郡町の人口推移



### 第3節 産業

本町の産業は事業所数、就業者数ともに最も多いのが卸売・小売業です。小売業ではマイバック持参運動によるレジ袋の削減が推進されています。本町ではマイバックやマイバスケットを手にした町民の皆様を多くお見掛けするようになりました。町民の皆様のご協力によりマイバック持参の取組みは着実に進んでいます。レジ袋は1枚の重さが約10グラムなので、一人が年間100枚のレジ袋を削減すれば約1キログラムの削減量となり、協力者が1000人に増えれば合計約1トンのごみ削減が可能となります。

表 2-1 上郡町の産業

産業区分		事業所数	就業者数
第1次産業		6	80
第2次産業	鉱業	-	-
	建設業	85	297
	製造業	41	837
第3次産業	電気・ガス・水道熱供給業	-	-
	情報通信業	-	-
	運輸業	11	71
	卸売・小売業	147	854
	金融・保険業	2	5
	不動産業	35	77
	学術研究・専門・技術サービス業	20	43
	飲食店、宿泊業	53	185
	生活関連サービス業	57	140
	教育、学習支援	26	60
	医療、福祉	41	555
	複合サービス事業	7	63
	サービス業	47	142
合計		578	3,409

[出典] 経済センサス基礎調査 事業所に関する集計 (平成 26 年度 総務省統計局)

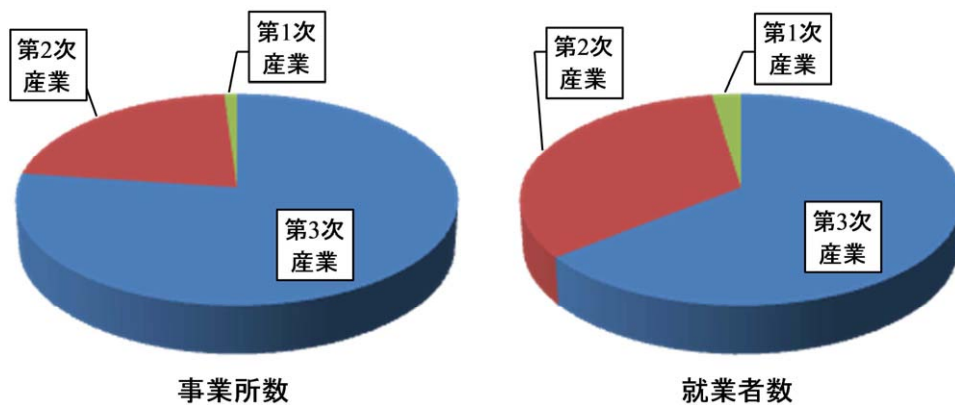


図 2-5 上郡町の事業所数と就業者数の比率



### 第3章 ごみ処理の現状把握

#### 第1節 ごみ処理の現状

##### 1. 生活系ごみの分別区分

本町で収集する生活系ごみの分け方を図 3-1 に示します。それぞれの区分についての詳細は表 3-1 から表 3-6 に示しています。

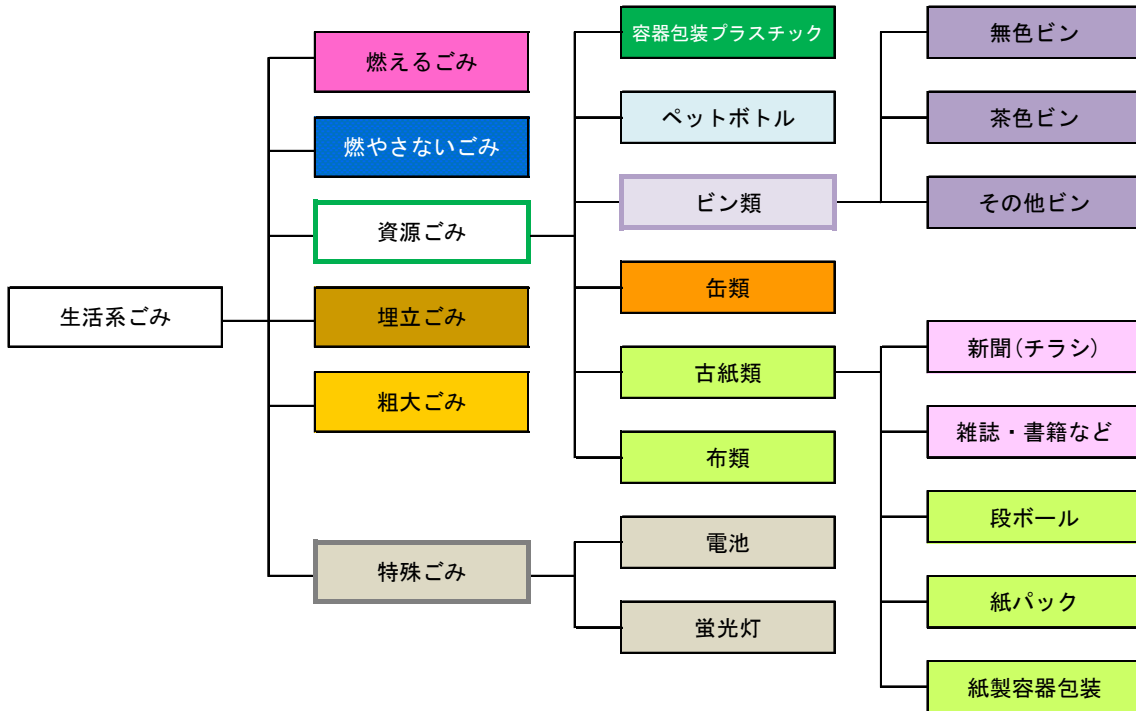


図 3-1 上郡町のごみと資源のわけ方

※取扱えないごみ

#### 家電 6 品目

エアコン、テレビ、洗濯機、衣類乾燥機（ドラム式を含む）、冷蔵庫及び冷凍庫は家電リサイクル法によりリサイクルが義務づけられています。これら 6 品目は購入先の家電小売店などへ収集・運搬とリサイクルのための費用を支払って引き取ってもらってください。

#### パソコン

「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、メーカーなどがリサイクルを行っています。なお、ノートパソコンについては町内 8ヶ所に設置してある小型家電回収ボックスに排出可能です。

#### 処理困難物

バッテリー、消火器、タイヤ、ペンキ、オートバイ、プロパンガスボンベ、オイルヒーター、農機具などの大型機械類、ピアノ、薬品などの処理困難物は、本町では収集も処理もできませんので、販売店か処理業者に相談してください。



表 3-1 上郡町で収集する生活系の燃えるごみ

区分	種類	ごみの例	ごみ袋	出し方
燃えるごみ	生ごみ	料理くず（貝殻も含む）・残飯など	指定袋 (有料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとめて指定袋（有料）に入れて出してください。</li> <li>●生ごみは、十分に水切りをしてください。</li> <li>●紙おむつの汚物は、トイレに流してください。</li> <li>●天ぷら油は固めるか布、紙にしみこませて出してください。</li> <li>●靴・かばんなどに付属する金属類などは取り外してください。取り外せない場合は「燃やさないごみ」に出してください。</li> </ul>
	紙くずなど	紙おむつ、資源回収できない紙類（レジートなどの感熱紙・カーボン紙など）、写真、落ち葉、刈り草、細かい小枝など		
	雑品	文具類、ビデオテープ、歯ブラシ、CD、CD ケースなど		
	皮革類	靴、カバン、はきものなど		
	その他	アルミ泊、燃える小物類、使い捨てカイロ、ヘルメット（プラスチック製）、ポリタンク、容器・包装以外のプラスチック		

表 3-2 上郡町で収集する生活系の燃やさないごみ

区分	種類	ごみの例	ごみ袋	出し方
燃やさないごみ	金属雑品	なべ、やかん、フライパン、一斗缶、ペンキの缶など	指定袋 (有料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとめて指定袋（有料）に入れて出してください。</li> <li>●包丁類などは、広告紙などにくるんで出してください。</li> <li>●機器に内蔵されている乾電池などは取り外して「特殊ごみ」に出してください。</li> <li>●カセットコンロ用ガス缶やスプレー缶は、中身を使いきり火の気のない場所で、ボロ布などをあて必ず穴を開けてください。</li> </ul>
	小型家電	電話機、携帯電話、DVD プレイヤー、デジタルカメラなど ※小型家電は回収ボックスが町内 8 ヶ所に設置されております。		
	その他	よごれたカン類、王冠、アルミキャップなど、カサ、スキー靴、燃えない小物類		
	カセットボンベ	カセットコンロ用ガス缶、各種スプレー缶 ※中身を使いきり必ず穴を開けてください。		



表 3-3 上郡町で収集する生活系の資源ごみ

区分	種類	ごみの例	ごみ袋	出し方	
資源ごみ	容器・包装プラスチック	みかんなどのネット類、チューブ類、カップ類、ポリ袋・ラップ類、発泡トレイ類、ボトル類、パック類、発泡スチロール、袋類、ふた類  ※対象とならないもの ・簡単に中身の汚れが取れないものは「燃えるごみ」に出してください。 ・バケツ、ハンガーなどの石油化学製品（製品プラスチック）は「燃えるごみ」に出してください。	透明の袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとめて透明の袋に入れて出してください。</li> <li>●中身を使い切ってから出してください。</li> <li>●値札などのシールは、剥がさずにそのまま出していただいても結構です。</li> <li>●汚れているものは、簡単に水洗いするか、ふき取ってから出してください。</li> </ul>	
	ペットボトル	飲料用・酒・調味料（これらの種類に限定）		<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャップ及びラベルを外して中を水洗いし、透明の袋に入れて出してください。</li> <li>●プラスチック製のキャップは「容器包装プラスチック」に、金属製のキャップは「燃やさないごみ」に分類してください。</li> </ul>	
	ビン類	食用ビン類（酒、酢、ドリンク、洋酒、のり、調味料等のビン）  ※飲み物、食べ物、化粧品の入っていたガラス製のビンに限ります。	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>●王冠、キャップを取り外し中を水洗いしてください。</li> <li>●ビン専用カゴの色表示、白色のカゴ（無色）、茶色のカゴ（茶色）、緑色のカゴ（その他の色）の3食に分けて、ていねいに入れて出してください。</li> <li>●ラベル、取れないプラスチックなどはそのまま出してください。</li> <li>●プラスチック製のキャップは、「容器包装プラスチック」に、金属製のキャップは「燃やさないごみ」に分類してください。</li> </ul>	
	缶類	ジュース、ビールなどの飲料用のカン、缶詰、海苔、ビスケット、茶筒などのカン	透明の袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飲料用のカン、缶詰のカンは、中を水洗いするかふき取ってから出してください。</li> <li>●アルミ缶とスチール缶は分けずに透明の袋に入れて出してください。</li> <li>●汚れている缶、ペンキ缶、オイル缶などは使い切って「燃やさないごみ」に出してください。</li> </ul>	
	古紙類	新聞…新聞・新聞の広告（チラシ） 雑誌…週刊誌、書籍など		十字結束（紙容器包装は紙袋で排出可能）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新聞と雑誌をそれぞれ分けてヒモで結んで（十字結束）出してください。</li> <li>※新聞の広告（チラシ）は「新聞」に分類してください。</li> </ul>
		段ボール 紙容器包装…包装紙、紙袋、菓子箱、ティッシュの箱など 紙パック…200ml以上の紙容器包装、ジュースパック  ※段ボール、紙容器包装、紙パックに分別してそれぞれヒモで結んでください。"			<ul style="list-style-type: none"> <li>●段ボールと紙容器包装を分けてたんでそれぞれヒモで結んで（十字結束）出してください。</li> <li>●紙パックは水洗いし、切り開いてヒモで結んで（十字結束）か、紙袋に入れて出してください。</li> <li>※内側がアルミコーティングされている物は「燃えるごみ」に出してください。</li> </ul>
布類	T シャツ、セーター、洋服、着物などの衣類。 シーツ、タオルなどの古布  ※綿の入った物は「燃えるごみ」または「粗大ごみ」に分類してください。 ※靴下、下着類は「燃えるごみ」に出してください。		十字結束か、透明・半透明の袋	<ul style="list-style-type: none"> <li>●布類は洗濯し、乾かしてヒモで結ぶ（十字結束）か、透明または半透明の袋に入れて出してください。</li> </ul>	



表 3-4 上郡町で収集する生活系の埋立ごみ

区分	種類	ごみの例	ごみ袋	出し方
埋立ごみ	陶磁器類	茶碗、皿、鉢、花瓶など	指定袋 (有料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとめて指定袋(有料)に入れて出してください。</li> <li>●直接埋立(上郡町最終処分場)処理しますので、金属などが付いているものは「燃やさないごみ」に出してください。</li> </ul>
	ガラスくず	リサイクルできないガラス類(コップ、耐熱ガラスなど)		
	ガラス類	食用ビン・化粧品のビン以外のビン、ガラス製品		
	がれき類	瓦、ブロック、コンクリート片、タイルなど		
	土砂類	(木片、ごみなど他の廃棄物が混入しないもの)		

表 3-5 上郡町で収集する生活系の粗大ごみ

区分	種類	ごみの例	ごみ袋	出し方
粗大ごみ	家具類	タンス、机、応接セット、ベッド、カーペット(電気カーペット)、ふとん、マットレス、たたみ、波板(プラスチック製、ビニールなど)、ビニールシートなど	シール (有料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指定袋に入らない「燃えるごみ」「燃やさないごみ」は「粗大ごみ」として重量に応じて粗大ごみシール(有料)を貼って出してください。</li> <li>●重量物や引越しなどで大量に出る場合は、直接施設へ搬入(有料)してください。</li> </ul>
	電気製品	扇風機、掃除機、こたつなど		
	その他	自転車、石油ストーブ、ガスレンジ、スキー板・トタンなど		

表 3-6 上郡町で収集する生活系の特殊ごみ

区分	種類	ごみの例	ごみ袋	出し方
特殊ごみ	電池	乾電池、ボタン電池、充電式電池	透明の袋に入れてビン専用カゴへ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池類は、まとめて透明の袋に入れてビン専用カゴに出してください。</li> <li>※ボタン電池・充電式電池は販売店で無料回収を行っている場合があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。</li> </ul>
	蛍光灯	蛍光灯(蛍光管)	割らずにケースに入れてビン専用カゴへ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●蛍光灯(蛍光管)は割らずにケースに入れてビン専用カゴに出してください。</li> <li>※割れたものは「燃やさないごみ」に出してください。</li> <li>※LED電球などのLED製品は水銀を含まないため「燃やさないごみ」に出してください。</li> </ul>





## 2. 生活系ごみの収集・運搬体制

本町では生活系ごみの収集・運搬を町直営で実施しておりましたが、平成26年4月からは全て業者に委託しています。現状の収集・運搬体制を表3-7に示します。

表 3-7 ごみの収集・運搬体制状況

区分	パッカー	ダンプ	その他
燃えるごみ	3t×2台 2.5t×3台	—	—
燃やさないごみ	—	2t×2台	—
資源ごみ	3t×2台 2.5t×3台	2t×2台	ビン収集車 2.5t×1台 ビン収集車 2t×1台
埋立ごみ	—	2t×2台	—
粗大ごみ	—	2t×2台	3.5tトラック×1台
特殊ごみ	—	2t×2台	—

## 3. 生活系ごみの処理体制

本町で収集されたごみは平成25年度より、にしはりまクリーンセンターで処理されています。同センターは「兵庫県ごみ処理広域化計画」（平成11年3月策定、平成15年9月一部改定）を踏まえ、本町を含む組合圏域の3市2町が連携して、より一層効率的なごみ処理を進めることを目的に整備された施設です。

表 3-8 にしはりまクリーンセンターの概要

所在地	佐用郡佐用町三ツ尾483番10	
熱回収棟	処理方式	全連続燃焼式ストーカ炉
	施設規模	89トン/日（44.5t/24時間×2炉）
リサイクル棟	施設規模	25トン/日（5時間）
集じん設備	サイクロン、バグフィルタ	



図 3-2 にしはりまクリーンセンター





にしはりまクリーンセンターで処理されるごみのフローを図 3-3 に示します。

### A ルート

本町で燃えるごみとして収集されたごみは、にしはりまクリーンセンターの熱回収施設で焼却処理されています。熱回収施設とは焼却炉の一種で、ごみ焼却の際に発生する熱エネルギーを発電や温水として有効利用することが特長です。燃えるごみは熱回収施設で熱エネルギーから電気を回収したのち、燃えかすとして残った焼却灰と集じん灰はセメント原料として再資源化業者に引渡し、再資源化されています。

### B ルート

燃やさないごみは粗大ごみ・資源ごみとともにリサイクル施設で処理されています。分別や破碎処理されたこれらのごみのうち、可燃性のものは燃やせるごみとして熱回収施設において処理されます。

### C ルート

リサイクル施設において、分別された資源や回収された金属くずは、再資源化業者により再生利用されています。

### D ルート

リサイクル施設で資源化ができなかった残渣のみ、上郡町最終処分場にて埋立処分されています。

### E ルート

集団回収された資源は、直接再資源化業者に引渡されます。

### F ルート

回収された埋立ごみは、直接上郡町最終処分場に搬入され処分されます。

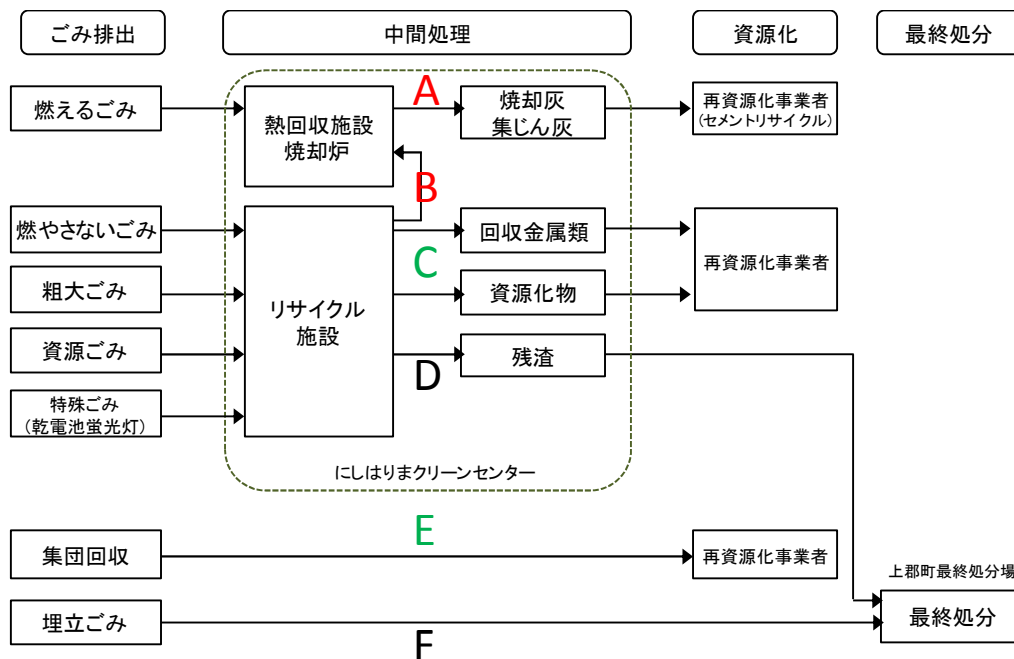


図 3-3 ごみ処理フロー



#### 4. 直接搬入による有料化の状況

ごみを処理施設に直接搬入する場合は、町指定のごみ袋や粗大ごみシールにより搬入した場合でも手数料が掛かります。ごみの種類によって搬入先や手数料などが異なりますので、事前の確認などが必要です。

表 3-9 直接搬入の搬入先と手数料

区分	搬入先	住所・電話番号	手数料
燃えるごみ	にしはりまクリーンセンター ※電話予約が必要	〒679-5144	10kg につき 100 円
燃やさないごみ		佐用郡佐用町三ツ尾	10kg につき 100 円
資源ごみ		483 番 10	無料
粗大ごみ		TEL (0790) 79-8550	10kg につき 100 円
埋立ごみ	上郡町最終処分場	〒678-1242 赤穂郡上郡町栗原字 猿子 966 番地 1 TEL (0791) 55-1551	【100kg 未満】 10kg につき 30 円 【100kg 以上】 100kg につき 500 円

表 3-10 上郡町最終処分場の概要

所在地	赤穂郡上郡町栗原字猿子966番地1
対象廃棄物	焼却残渣・不燃物
埋立期間	平成12年度～平成63年度（平均年間処分量 961 m <sup>3</sup> ）



図 3-4 上郡町最終処分場

#### 5. 事業系ごみ

事業者自らが直接搬入したごみや、許可を受けた収集運搬業者によって町内の事業者から回収されたごみは、生活系ごみと同様の区分に従い処理されています。



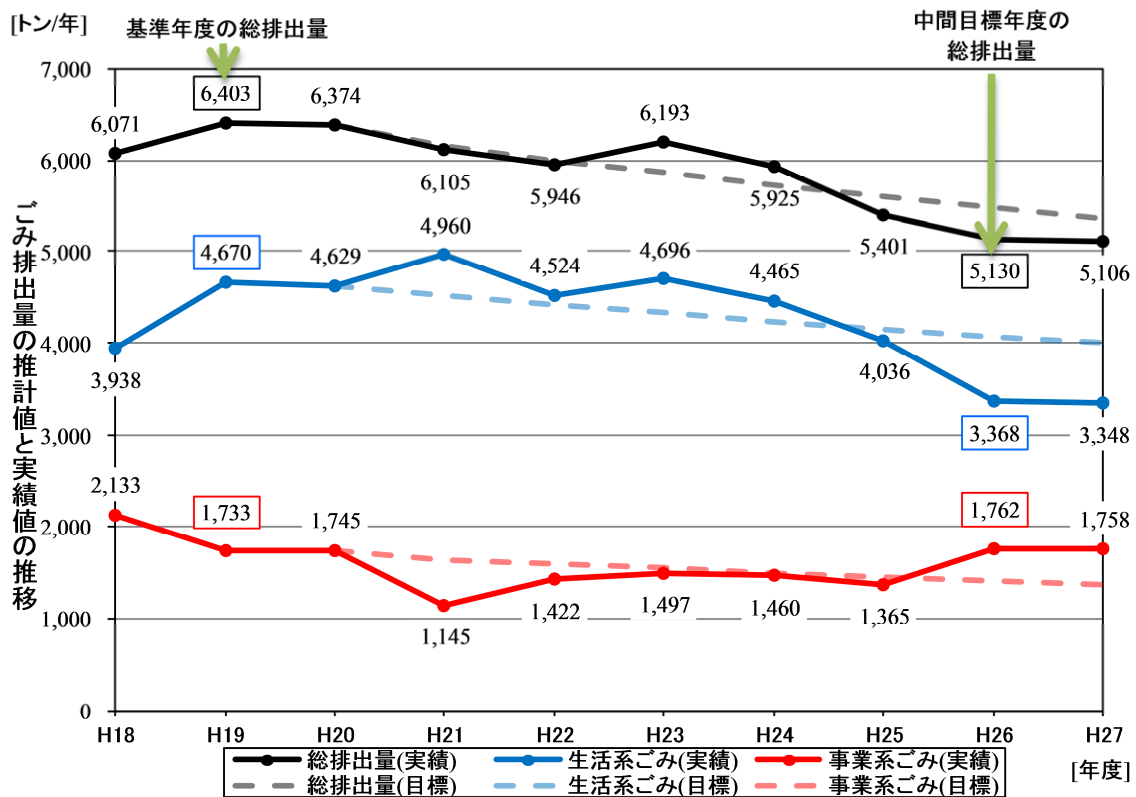
## 第2節 ごみ排出量の推移

### 1. 総排出量の推移

平成18年度から平成27年度までのごみ排出量の推移を図3-5に示します。青が生活系ごみ、赤が事業系ごみ、黒が総排出量の推移を示しています。右下がりの破線は前計画での減量目標値を示しており、「町民の皆様のご協力により3Rを推進することでごみを減らそう」と定めた数値です。前計画の基準年度である平成19年度と中間目標年度の平成26年度は、それぞれ数値を四角で囲って示しています。

総排出量は平成21年度以降減少傾向にあり、平成23年度にいったん増加しましたが、その後は再び減少傾向が続いています。基準年度と中間目標年で比較すると、6,403トンあった総排出量が5,130トンに減量しており、1,273トンの削減量となりました。

内訳をみると生活系ごみは平成21年度をピークに減少傾向が続いており、基準年度に対して中間目標年度で1,302トンの削減量となりました。一方で事業系ごみは平成22～25年度までは低い水準を保っていましたが、平成26年度に増加し、基準年度よりも多くのごみが発生している状況です。従って、減量化に関しては生活系ごみについては今後も低い水準のまま推移できるように、町民の皆様にこのまま継続して減量に取り組んで頂き、事業系ごみについては更なる減量化の推進にご協力頂き、排出量を低い水準まで下げる必要があります。



[出典] ごみ処理の概要 (平成18～26年度 環境省)、災害廃棄物の処理処分状況 (平成21年度 環境省) 上郡町住民課調べ (平成18～27年度)

図3-5 ごみ排出量の推移



## 2. 区分別・排出形態別ごみ排出量の推移

区分別・形態別ごみ排出量の推移を表 3-11 及び図 3-6 に示します。前計画の基準年度の平成 19 年度と中間目標年度の平成 26 年度はそれぞれ色付きで示しています。

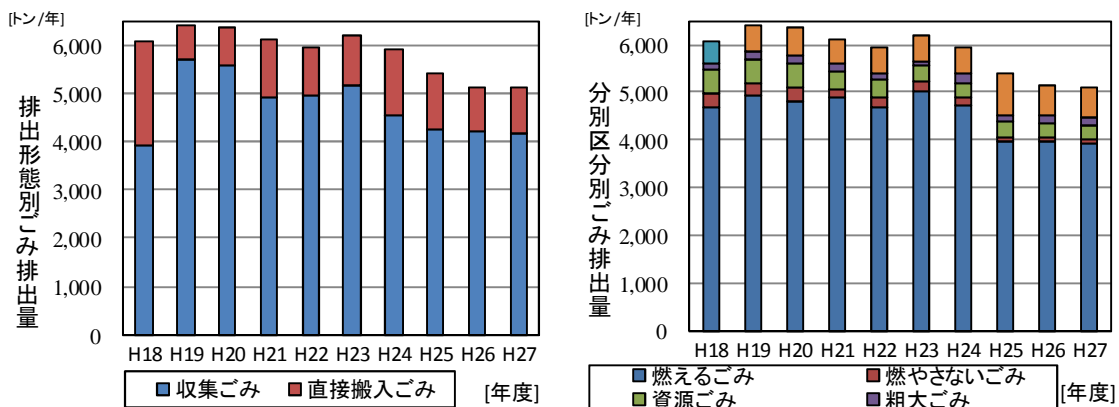
分別区分でみると燃えるごみが最も多く排出されていますが、削減量も多く、基準年度に対して中間目標年度で 960 トンの減量となっています。燃やさないごみは 165 トンの減量、粗大ごみは 1 トンの減量となっています。一方でその他のごみは 67 トンの増加、資源ごみは 214 トンの減少となっています。また、排出形態にみると収集ごみが多くを占めています。

表 3-11 区分別・形態別ごみ排出量の推移

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
計画収集人口		人	18,091	17,823	17,796	17,538	17,167	16,879	16,793	16,462	16,200	15,914
収集ごみ		t/年	3,938	5,692	5,587	4,923	4,944	5,181	4,534	4,266	4,216	4,158
	燃えるごみ	t/年	3,118	4,758	4,643	4,220	4,326	4,594	4,092	3,815	3,781	3,749
	燃やさないごみ	t/年	161	256	272	136	141	145	82	84	73	68
	資源ごみ	t/年	537	511	527	402	369	337	300	294	279	260
	粗大ごみ	t/年	122	167	145	165	108	105	44	51	64	57
	その他のごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	16	22	19	(24)
直接搬入ごみ		t/年	2,133	711	787	(1,175)	1,002	1,012	1,391	1,135	914	948
	燃えるごみ	t/年	1,555	176	174	[654]	377	415	629	160	193	186
	燃やさないごみ	t/年	122	0	0	45	68	60	74	11	18	15
	資源ごみ	t/年	0	0	0	[0]	0	0	0	15	18	24
	粗大ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	164	96	102	109
	埋立ごみ	t/年	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他のごみ	t/年	0	535	613	[476]	557	537	524	853	583	614
合計		t/年	6,071	6,403	6,374	(6,098)	5,946	6,193	5,925	5,401	5,130	5,106
	燃えるごみ	t/年	4,673	4,934	4,817	(4,874)	4,703	5,009	4,721	3,975	3,974	3,935
	燃やさないごみ	t/年	283	256	272	181	209	205	156	95	91	83
	資源ごみ	t/年	537	511	527	402	369	337	300	309	297	284
	粗大ごみ	t/年	122	167	145	165	108	105	208	147	166	166
	埋立ごみ	t/年	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他のごみ	t/年	0	535	613	(476)	557	537	540	875	602	638
集団回収		t/年	643	642	642	545	469	446	381	387	324	277
排出源別搬出量		t/年	6,071	6,403	6,374	6,098	5,946	6,193	5,925	5,401	5,130	5,106
	生活系ごみ	t/年	3,938	4,670	4,629	4,953	4,524	4,696	4,465	4,036	3,368	3,348
	事業系ごみ	t/年	2,133	1,733	1,745	1,145	1,422	1,497	1,460	1,365	1,762	1,758

[備考] ( )…計算による推計値、[ ]…別項目などの数値を代入した推計値

区分は環境省の表記では、燃えるごみは可燃ごみ、燃やさないごみは不燃ごみ、  
その他のごみは上郡町の場合は埋立ごみに対応しています。



[出典] ごみ処理の概要 (平成 18~26 年度 環境省)、災害廃棄物の処理処分状況 (平成 21 年度 環境省)  
上郡町住民課調べ (平成 18~27 年度)

図 3-6 区分別・形態別ごみ排出量の推移

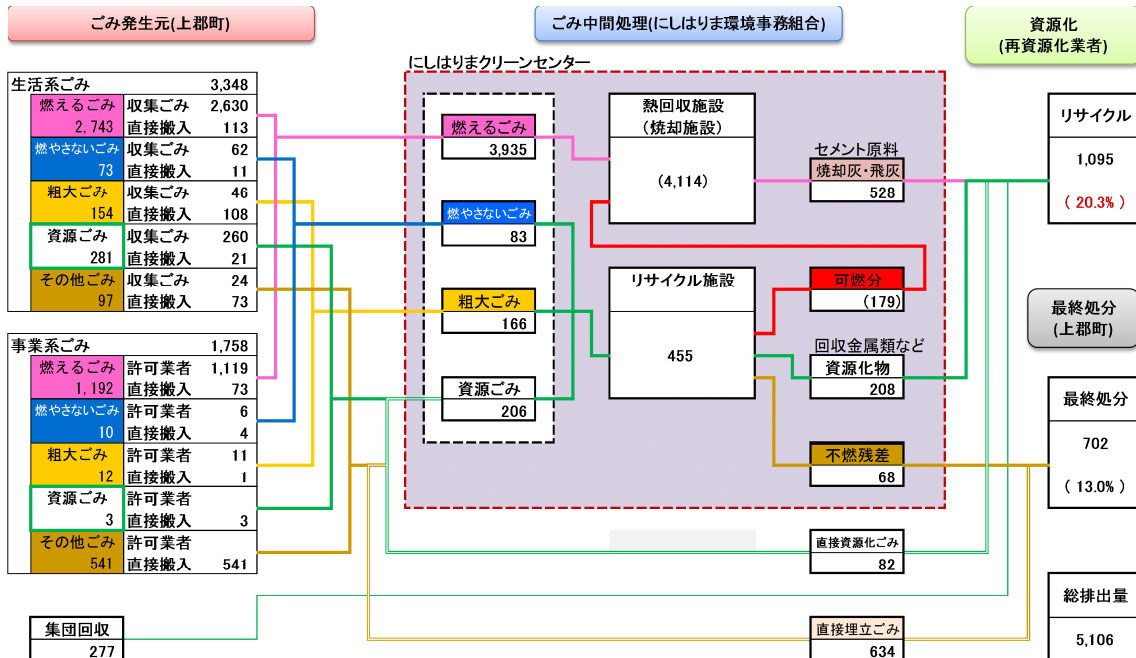


### 3. ごみ処理量の推移

ごみ処理量の推移及び平成 27 年度におけるごみ処理フローを表 3-12 及び図 3-7 に示します。この表は町内から排出されたごみのうち、どれだけの量が焼却され、どれだけの資源物が回収されたかなどを示しています。また、平成 27 年度のごみ処理フローをみると、回収された総資源化量は 1,095 トンでリサイクル率は 20.3%でした。最終処分量は 702 トンでした。

表 3-12 ごみ処理量の推移

	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
処理量合計	t/年	6,071	6,403	6,374	6,098	5,946	6,193	5,925	5,401	5,130	5,106
直接資源化量	t/年	0	0	0	0	0	0	0	87	97	82
直接最終処分量	t/年	456	535	613	476	557	537	540	871	599	634
中間処理量	t/年	5,615	(5,868)	5,761	(5,622)	5,389	5,656	(5,385)	(4,443)	(4,434)	4,390
中間処理後再生利用量	t/年	763	678	625	502	435	404	370	718	723	736
中間処理後最終処分量	t/年	855	899	860	783	749	796	667			
焼却処理量	t/年	4,772	(5,027)	4,893	(5,033)	4,795	5,102	(4,843)	(4,021)	(4,082)	4,053
直接焼却量	t/年	4,673	[4,934]	4,817	[4,874]	4,703	5,009	[4,721]	[3,892]	[3,967]	3,935
中間処理施設からの搬入量	t/年	99	93	76	159	92	93	122	129	115	118
最終処分量(焼却灰)	t/年	749	795	766	[680]	657	703	594			
焼却以外の中間処理量	t/年	942	(934)	944	(748)	686	647	664	551	467	455
資源化を行う施設	t/年	942	[934]	944	[748]	686	647	664	551	467	455
再生利用量	t/年	763	678	625	502	435	404	370	718	723	736
資源化を行う施設	t/年	763	678	625	502	435	404	370	181	208	208
焼却施設(焼却灰)	t/年								537	515	528
資源化量合計	t/年	1,406	1,320	1,267	1,047	904	850	751	1,192	1,144	(1,095)
直接資源化量	t/年	0	0	0	[0]	0	0	0	87	97	[82]
中間処理後再生利用量	t/年	763	678	625	502	435	404	370	718	723	736
集団回収量	t/年	643	642	642	545	469	446	381	387	324	277
リサイクル率	%	20.9%	18.7%	18.1%	15.8%	14.1%	12.8%	11.9%	(20.6%)	(21.0%)	(20.3%)
最終処分量	t/年	1,311	1,434	1,473	1,259	1,306	1,333	1,207	927	664	702
直接最終処分	t/年	456	535	613	[476]	557	537	540	871	599	634
焼却残渣量	t/年	749	795	766	680	657	703	594			
焼却以外の中間処理施設の処理残渣量	t/年	106	104	94	103	92	93	73	56	65	68



[出典]ごみ処理の概要(平成18~26年度 環境省)、災害廃棄物の処理処分状況(平成21年度 環境省)  
上郡町住民課調べ(平成18~27年度)

[備考] ( )…計算による推計値、[ ]…別項目などの数値を代入した推計値

図 3-7 ごみ処理フロー図(平成27年度)



#### 4. 資源化量・リサイクル率の推移

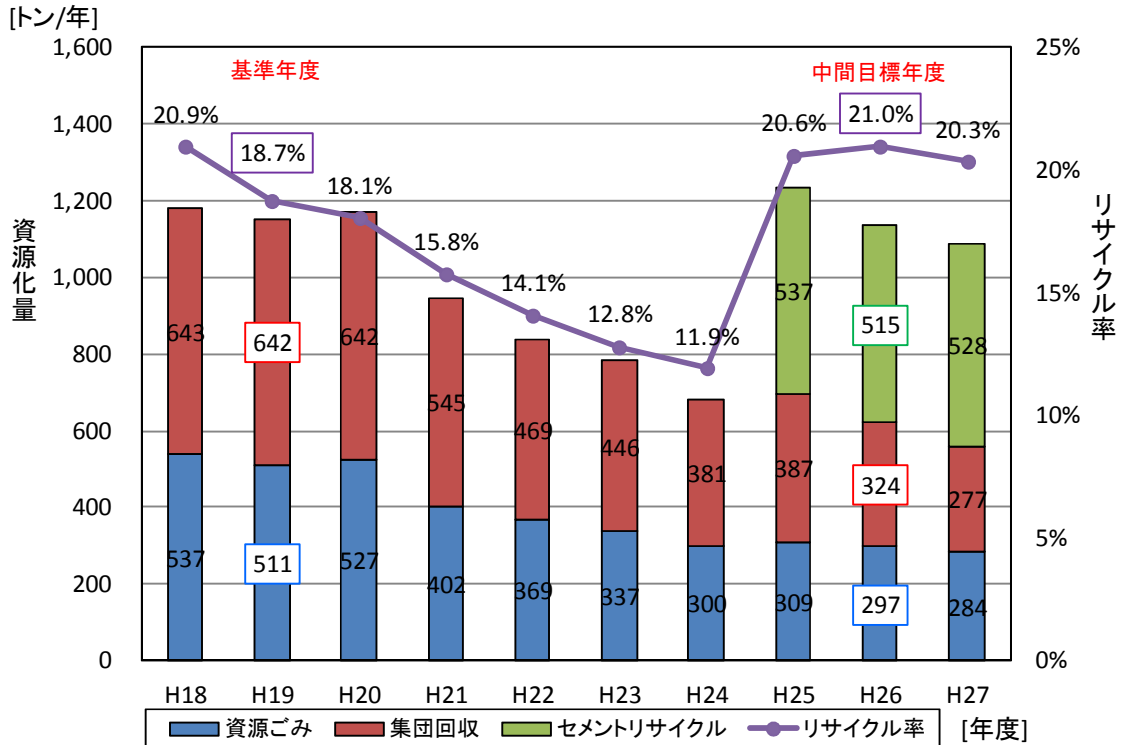
資源化量・リサイクル率の推移を図 3-8 に示します。前計画の基準年度である平成 19 年度と中間目標年度の平成 26 年度は、それぞれ数値を四角で囲って示しています。

本町では平成 25 年度からは焼却灰と集じん灰をセメント原料に再利用しているため、資源化量・リサイクル率ともに大幅な増量が見られます。ただし内訳をみると平成 18 年度以降は概ね減少傾向が続いており、基準年度に対して中間目標年度では、資源ごみは 214 トンの減少、集団回収は 318 トンの減少となりました。

ちなみに現在のリサイクル率の算定方法には、スーパーマーケットなどで推進されている資源の店頭回収量が含まれていないため、町民の皆様が取組んだ全ての資源化量は反映できていません。従って、近年ではリサイクル率が低く見積られる傾向にあります。しかしながら、本町では従来見込んでいなかったセメントリサイクルによって資源化量が加算されたため、リサイクル率は基準年度に比べて 2.3 ポイントの増加となりました。

$$\text{リサイクル率(\%)} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

[出典] ごみ処理の概要 (平成 26 年度 環境省)



[出典] ごみ処理の概要 (平成 17~26 年度 環境省)、上郡町住民課調べ (平成 17~27 年度)

図 3-8 資源化量・リサイクル率の推移





### 5. 最終処分量・最終処分率の推移

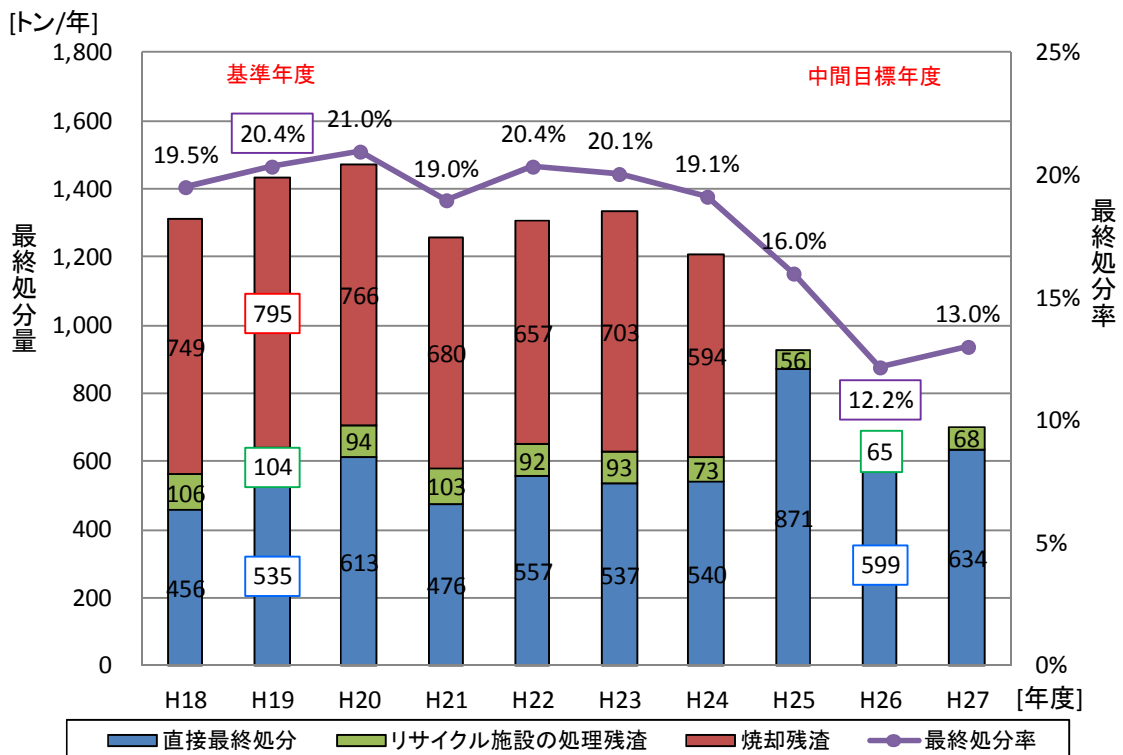
最終処分量・最終処分率の推移を図 3-9 に示します。

本町では平成 25 年度から焼却灰と集じん灰をセメント原料に再利用しているため、最終処分量・最終処分率ともに減少しています。また、処理施設が平成 25 年度を境に変更されており、新施設は旧施設よりも処理効率が良いため、リサイクル施設の処理残渣を従来の 100 トン前後から 60 トン前後にまで削減できています。なお新施設は試験運転を平成 24 年度から開始しており、同年度にも減量効果が認められ、リサイクル施設の処理残渣は前年度よりも 20 トン少ない 73 トンの排出量となっています。

一方で、直接最終処分量は増加しています。特に平成 25 年度には大幅な増加が認められ、翌年度には減少していますが、依然として基準年度よりも高い水準で推移しています。しかしながら、総最終処分量は従来は埋立っていた焼却残渣を資源に活用することで抑制され、最終処分率は基準年度より 8.2 ポイント低い 12.2% となっています。

$$\text{最終処分率(\%)} = \frac{\text{直接最終処分量} + \text{リサイクル施設の処理残渣} + \text{焼却残渣}}{\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

[備考]最終処分量を最終処分率として見た場合の計算式です。



[出典]ごみ処理の概要 (平成 17~26 年度 環境省)、上郡町住民課調べ (平成 17~27 年度) にしはりま環境事務組合 (平成 25~27 年度)

図 3-9 最終処分量・最終処分率の推移





### 第3節 中間目標年度における評価と課題

前計画で設定したごみ減量の数値目標と現状での達成状況を表 3-13 に示します。前計画ではごみ減量の長期目標として5つの数値目標を定めていました。このうち生活系ごみと最終処分量については、中間目標年度の時点で長期目標として設定した削減量を達成することができました。またリサイクル率と焼却処理量については、長期目標は達成できていませんが計画どおりの水準でリサイクル率の向上と焼却処理量の削減が進んでいます。ただし事業系ごみについては減量が進んでおらず、基準年度よりも多く排出量されています。

表 3-13 区分別・形態別ごみ排出量の推移

	平成 19 年度	平成 26 年度		平成 34 年度	達成状況
	前計画の 基準値	前計画の 中間目標値 (参考)	実績値	前計画の 長期目標値	
総排出量 (参考)	6,403 [t/y]	5,470 [t/y]	5,130 [t/y]	—	—
生活系ごみ	4,670 [t/y] (718[g/人日])	4,070 [t/y] (661[g/人日])	3,366 [t/y] (570[g/人日])	原単位量 17%削減 (596[g/人日])	長期目標 達成
事業系ごみ	1,733 [t/y] (266[g/人日])	1,401 [t/y] (228[g/人日])	1,762 [t/y] (298[g/人日])	原単位量 31%削減 (184[g/人日])	中間目標 未達成
リサイクル率	18.7 [%]	21.7 [%]	21.0 [%]	25[%]	中間目標 概ね達成
最終処分量	1,434 [t/y]	1,227 [t/y]	664 [t/y]	31%削減 989 [t/y]	長期目標 達成
焼却処理量	4,934 [t/y]	4,270 [t/y]	3,967 [t/y]	31%削減 3,404 [t/y]	中間目標 達成

[出典] ごみ処理の概要 (平成 19, 26 年度 環境省)

[備考] 前計画の中間目標値は長期目標値を元に按分により算定した数値です。

[参考] 原単位量とは一人一日あたりのごみ排出量を表わしています。表中では括弧で示しています。

#### 1. 生活系ごみ排出量の中間評価

生活系ごみの排出量は、中間目標年度においてすでに長期目標値を 26 g/人日下回る削減ができました。

生活系ごみの削減については、「生ごみの水切り」や「マイバック運動」などの啓発・推進によるごみの排出抑制、「ごみ処理カレンダーどおりの分別排出」などによる資源化の推進、「町民・事業者・行政一体化に向けたごみ処理にかかる情報提供」などによる再使用の推進など、様々な取組みの成果の現れであると考えられます。

今後も町民の皆様に継続してご協力頂くことで、生活系ごみの排出量をこのまま低



い水準に保つことが望まれます。

## 2. 事業系ごみ排出量の間接評価

事業系ごみの排出量は、中間目標値を達成できていません。

事業系ごみの排出量は中間目標年度の前年度である平成 25 年度までは計画どおりの削減が進んでいました。しかしながら平成 26 年度に増加に転じてからは、基準年度である平成 19 年度を上回る排出量となっています。

事業系ごみの削減については、「簡易包装の実施」や「生ごみの飼料化」などによるごみの排出抑制、「梱包材の再使用や積極的な資源化」などによる更なる再使用・資源化の推進、などの取組の強化が求められます。

## 3. リサイクル率の間接評価

本町では町民の皆様に「集団回収への積極参加」や「ごみ分別」などにご協力頂いているにもかかわらず、集団回収量も資源ごみ回収量もともに減少を続けています。一方で、スーパーマーケットなどでは資源の店頭回収が盛んに推進され、町民の皆様にとっては集団回収・行政回収並びに店頭回収のいずれも利用できる環境にあります。

現状ではスーパーマーケットなどでの全ての回収量は把握できていませんが、資源ごみの行政回収については平成 18 年度から平成 27 年度の 10 年間で約 53%の回収量に減少しており、同じく 10 年間で集団回収は 43%の回収量に減少しました。本町では今後も店頭回収では取扱の少ないビンが資源ごみとして行政回収に出せることや、洋服などの布類が集団回収に出せることなどを町民の皆様により広く知って頂き、集団回収への積極的な参加や資源ごみ排出の促進を働きかけていきます。

なお本町では平成 25 年度から焼却灰のセメント原料に再利用するセメントリサイクルを開始したことで、集団回収と資源ごみのマイナス量を上回る資源化量が加算され、基準年度を上回るリサイクル率が達成できました。中間目標値にはわずかに足りませんが、概ね計画どおりの高い水準を達成していると評価しています。

## 4. 最終処分量の間接評価

最終処分量は、すでに長期目標値を大幅に下回る削減ができました。

セメントリサイクルによって従来は埋立っていた焼却灰が資源として再利用されるようになったため、埋立量を年間約 600～700 トン削減することができました。また、にしはりまクリーンセンターが稼動し、より効率的な中間処理が開始されたことにより、処理残渣を年間約 40 トン削減することができました。ただし、直接最終処分量については削減が遅れているため、今後も町民の皆様にご理解ご協力のもと、直接最終処分量の削減を推進します。



## 5. 焼却処理量の中間評価

前計画では焼却処理量についても削減目標を定めており、本町においては中間目標を達成することができました。なお、本町で発生したごみは組合で中間処理されます。そこで組合の計画との整合を図るため、対応する項目及び年度を表 3-14 に示します。項目については本町における燃えるごみ排出量と組合における直接焼却量を比較し、年度については本町と組合では基準年度や目標年度がそれぞれ異なるため、比較は一部の年度のみで行います。

組合では平成 26 年度の直接焼却量を平成 25 年度に比べて 1.8% の削減と推計(予測)していました。一方で本町から発生した燃えるごみの削減量は横ばいです。本町では燃えるごみの排出量を計画通りの低い水準で保っていますが、更なる削減を推進することで、にしはりまクリーンセンターでの中間処理量を減らすことができます。

表 3-14 焼却処理量における本町の実績と組合の推計(予測)

	対応する年度 及び項目	平成 25 年度 (組合の基準年度)	平成 26 年度 (本町の中間目標年度)	削減率
本町の実績値	燃えるごみ	3,975 [t/y]	3,974 [t/y]	横這い
組合の計画 (3市2町の合計)	直接焼却量 (破碎可燃物除く)	19,653 [t/y]	19,301 [t/y]	-1.8%

[出典] 一般廃棄物処理基本計画(平成 25 年 にしはりま環境事務組合)

[備考] 焼却処理量の削減は本町では燃えるごみの削減に対応します。

## 6. 課題の整理

本町におけるごみ排出について、循環型社会形成を推進する立場でごみ排出抑制、再使用及び再利用についての中間評価を行いました。結果として以下の課題が明らかとなりました。生活系ごみ、リサイクル率及び最終処分量については計画どおりの削減並びに向上が達成できています。一方で、事業系ごみと燃えるごみについては更なる減量が望まれます。

表 3-15 課題の整理

	中間評価及び課題
生活系ごみ	生活系ごみの削減は長期目標を達成しているため、今後も排出量を低い水準に保つことが望まれます。
事業系ごみ	事業系ごみの削減は中間目標を達成しておらず、今後は再度削減に取り組む必要があります。
リサイクル率	リサイクル率については、集団回収・行政回収並びにスーパーマーケットなどによる店頭回収のいずれも利用できる環境であるものの、集団回収量・行政回収量が大幅に減少しているため、今後も集団回収への積極的な参加や資源ごみ排出の促進を働きかけていきます。
最終処分量	最終処分量の削減は長期目標を達成しているため、今後も排出量を低い水準に保つことが望まれます。
燃えるごみ	焼却処理量の削減は、ごみの発生元である本町においては燃えるごみの削減に対応します。本町では燃えるごみの排出量を目標どおりの低い水準まで削減できております。更なる減量により焼却処理量の削減ができます。



#### 第4節 システム評価

「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」（環境省）を用いて実施したシステム分析結果を表3-15及び図3-10に示します。

このツールは環境省により、循環型社会形成に向けた一般廃棄物処理システム構築のための支援ツールとして提供されたもので、産業構造や人口を基に全国の都市データから類似市町村を抽出し、客観的な評価を平均や偏差値などで示すツールです。分析結果を要約すると、本町では焼却残渣である焼却灰と集じん灰をセメント原料として再利用しているため、「廃棄物のうち最終処分される割合」が少ない一方で、「最終処分減量に要する費用」は平均より高くなっています。「人口一人一日当たりごみ総排出量」はほぼ平均ですが、「人口一人当たり年間処理経費」は平均より777円高くなっています。「廃棄物からの資源回収率」の評価値が低い原因は焼却灰などの資源化量が集計されていないためです。

表3-15 システム分析に基づく類似都市との比較（平成26年度実績）

標準的な指標	人口一人一日当たりごみ総排出量 (kg/人・日)	廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等除く) (t/t)	廃棄物のうち最終処分される割合 (t/t)	人口一人当たり年間処理経費 (円/人・年)	最終処分減量に要する費用 (円/t)
平均	0.911	0.170	0.108	13,635	45,697
最大	1.687	0.444	0.498	31,235	256,233
最小	0.048	0.000	0.000	5,380	16,373
標準偏差	0.240	0.076	0.075	5,181	26,973
上郡町実績	0.922	0.115	0.122	12,858	36,813
偏差値	50	43	48	52	53

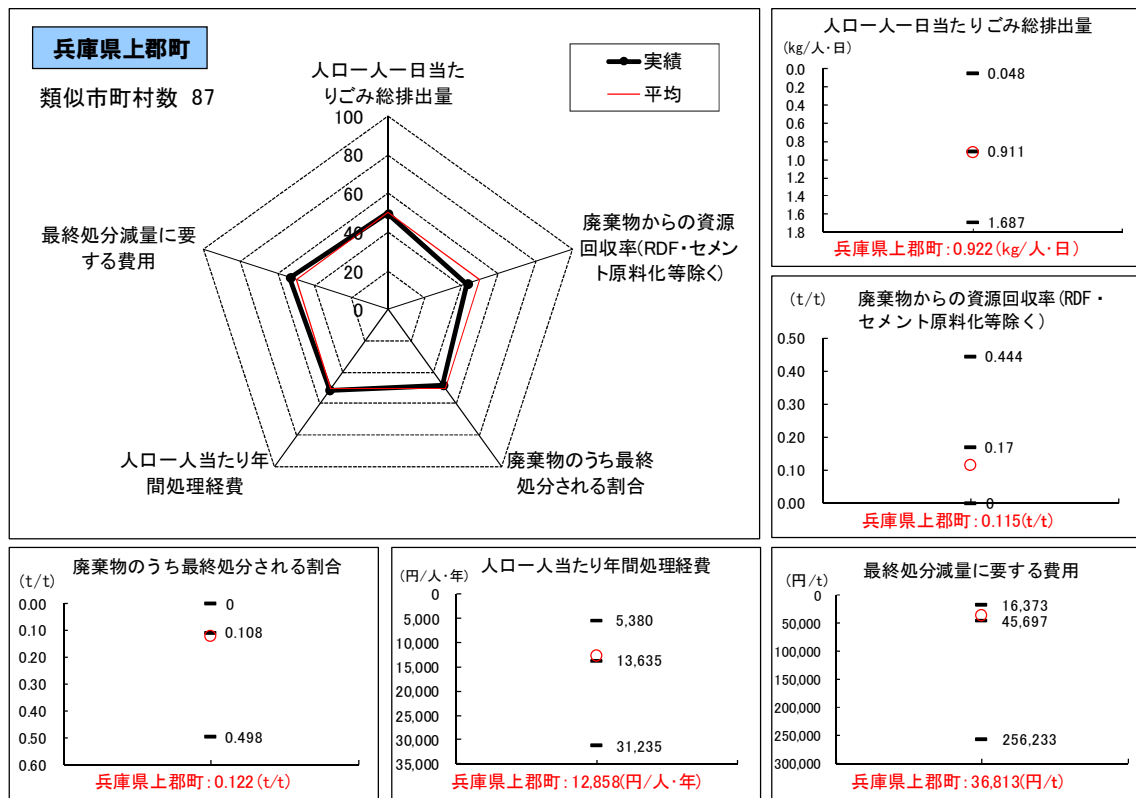


図3-10 システム分析に基づく類似都市との比較（平成26年度実績）



### 第5節 ごみの性状

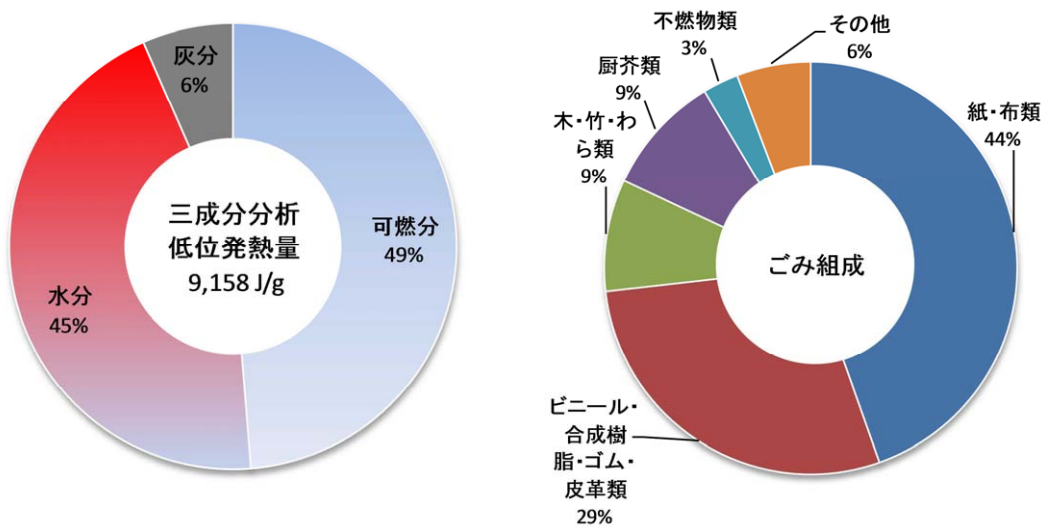
本町から排出された燃えるごみの性状を図3-11に示します。

平成27年度に本町から排出されたごみは三成分分析で示すと、そのほとんどが水分である事が分かります。従って、町民の皆様が生ごみの水切りなどにご協力頂くことで、ごみの総量をよりいっそう削減することができます。

ごみの性状については紙・布類が最も多く44%を占めています。その内、紙についてはレシートなどの感熱紙やカーボン紙などは資源回収できませんが、新聞、雑誌、書籍、広告のチラシ及び段ボールなどの他に、紙容器包装（包装紙、紙袋、菓子箱及びティッシュの箱など）や紙パック（200ml以上の紙容器包装、ジュースパック）などが資源ごみとして回収できます。布類についてもTシャツ、セーター、洋服及び着物などの衣類や、シート及びタオルなどの古布が資源ごみとして回収できます。

燃えるごみとして排出されている資源の一部を、分別により資源ごみとして排出して頂くことで、リサイクル率の向上と焼却処理量の削減が望めます。循環型社会の形成を推進するため、町民の皆様についてはよりいっそうの分別へのご協力をお願い致します。

また、紙類、布類、ビン類及び缶類は集団回収に排出できます。



[出典] ごみ質分析結果（平成27年度 にしはりま環境事務組合）

図3-11 本町から発生したごみの性状（平成27年度）





## 第4章 基本フレームの検討

### 第1節 循環型社会構築のための基本方針検討

経済発展に伴う大量生産・大量消費型の社会は、私達に生活様式の多様化や利便性の向上をもたらしてきました。しかし一方では増加した廃棄物が最終処分場の残容量を不足させ、深刻な社会問題を発生させています。環境負荷を減らすためには、これまでの社会経済システムやライフスタイルを見直し、持続可能な循環型社会の構築を目指すことが求められています。

本町は循環型社会を構築するための基本方針として、「排出抑制の推進」「環境領域・普及啓発活動の推進」「リサイクル体制の構築・推進」の3項目を、各主体の協力のもと総合的に進めていきます。そのうち「リサイクル体制の構築・推進」については、ごみを焼やした後に残る焼却灰を埋立てるのではなく、セメント原料として再利用することで、最終処分量の減量とリサイクル率の向上を図っています。また、「排出抑制の推進」と「環境領域・普及啓発活動の推進」については、地域特性を活かした取組により循環型社会の形成を図っていきます。今後も町民の皆様のご理解ご協力により、ごみになるものを減らしていただき、まだ使える物は再使用していただくことなどで、循環型社会の形成をよりいっそう推進します。



図4-1 基本方針について

### 第2節 計画目標年次の設定

計画目標年次について、新基準年度を平成27年度とし、7年後の平成34年度を中間目標年度、15年後の平成42年度を長期目標年度と定めます。

なお計画は社会情勢の変化に対応するために、概ね5年毎に見直しを実施します。



図4-2 基準年度と目標年度



### 第3節 人口の将来予測

人口の増減はごみ排出量と密接に関わっているため、ごみ排出量に関する長期的な計画を策定するためには人口の将来予測が不可欠です。上郡町の人口予測は平成27年度に策定された「上郡町人口ビジョン」において、平成22年度までの国勢調査を基に推計されています。ただし本計画ではより最新年度の平成27年度までの実績値が集計されている住民基本台帳を基礎データとし、平成18年度から平成27年度までの最新データを基に、平成28年度から平成42年度までの推計（予測）を実施しました。予測手法と「上郡町人口ビジョン」との差異については資料編に示しています。

本計画での人口の将来予測結果を図4-3に示します。基準年度の平成27年度と中間目標年度の平成34年度、並びに長期目標年度の平成42年度をそれぞれ赤・緑・青で示しています。黄色の三角は「上郡町人口ビジョン」の推計を示しています。

本町の人口は減少傾向にあり、近年は毎年約300人前後の人口減となっています。組合の計画や上郡町人口ビジョンでも人口減が予測されており、本計画の予測と比べても中間目標年度や長期目標年度でほぼ同じ予測値となっています。

人口の予測結果は、基準年度の15,914人に対して中間目標年度が14,467人、長期目標年度が12,903人となりました。この推移を人口減少率に直すとマイナス1.42%となります。

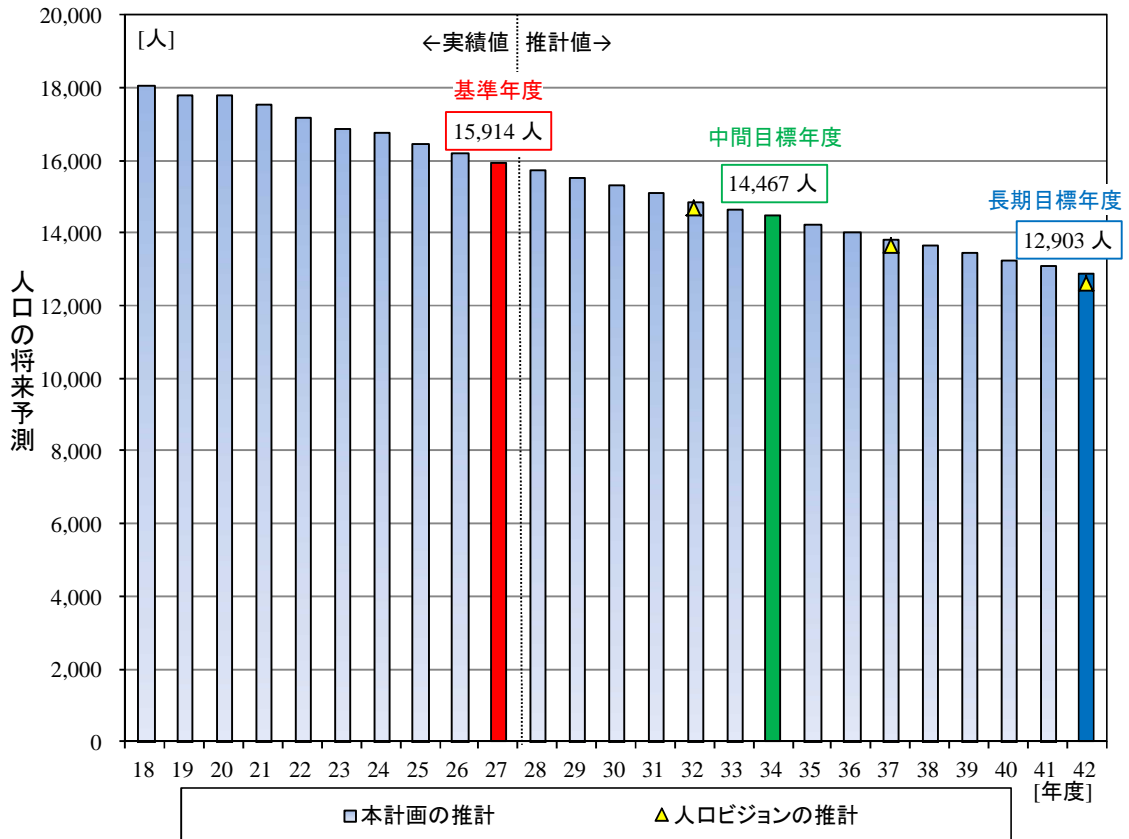


図4-3 人口の将来予測





#### 第4節 ごみ排出量の将来予測

ごみ排出量の将来予測結果を図4-4に示します。予測手法については資料編に示しています。青が生活系ごみ、赤が事業系ごみ、緑が集団回収を示しています。

ごみ排出量は概ね人口減少率に比例します。生活系ごみについては基準年度の3,348トンに対して中間目標年度が3,035トン、長期目標年度が2,707トンとなりました。事業系ごみについては人口に比例するごみと比例しないごみがありますが、分離が困難なため全量を人口に比例するものとして推計しました。結果として事業系ごみは基準年度の1,758トンに対して中間目標年度が1,598トン、長期目標年度が1,425トンとなりました。集団回収は減少が続いているため、基準年度の277トンに対して中間目標年度が149トン、長期目標年度が69トンと推計(予測)されました。総排出量は生活系ごみ・事業系ごみ・集団回収の合計値として算定し、基準年度の5,383トンに対して中間目標年度が4,782トン、長期目標年度が4,201トンとなりました。ごみ排出量の将来予測については、可燃・不燃・資源・粗大・埋立ごみなどについても推計(予測)を行っています。各項目の予測手法と予測結果の詳細については資料編に示しています。

以上の推計(予測)結果を基に、循環型社会形成の推進を目的とした、ごみの排出抑制・再使用・再利用についての基本計画を策定します。

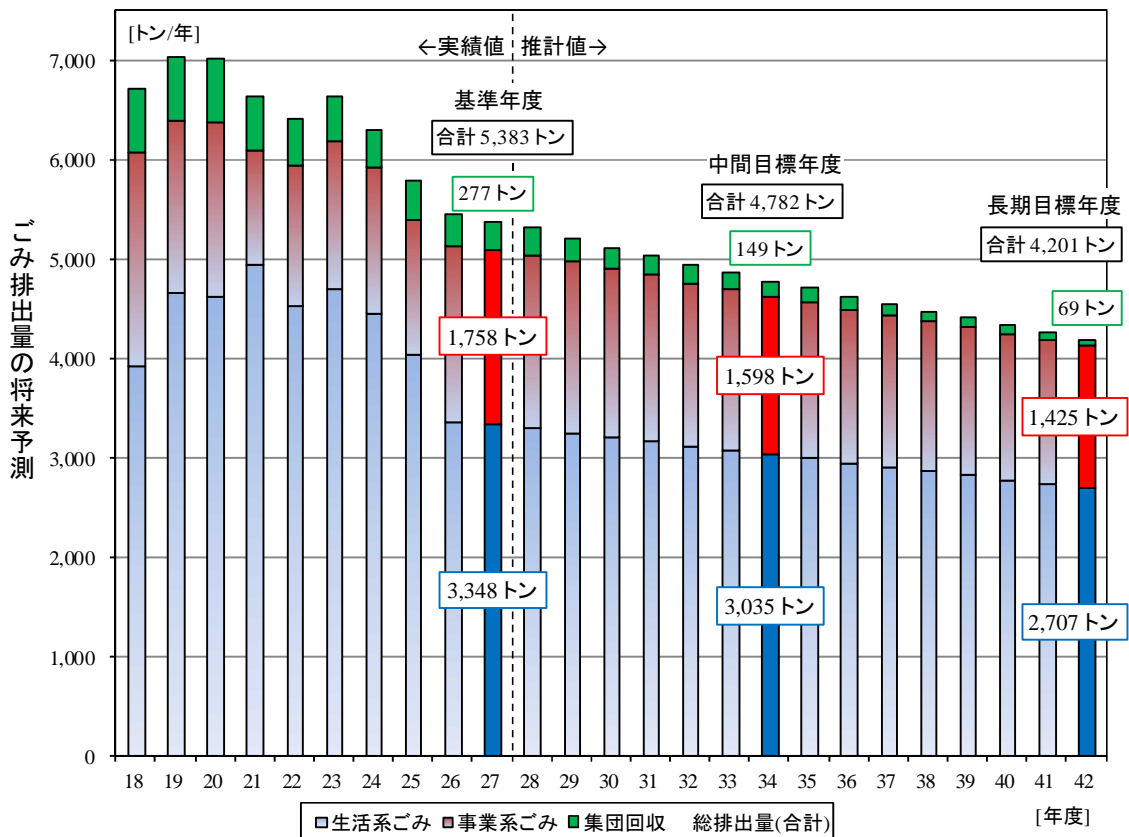


図4-4 ごみ排出量の将来予測



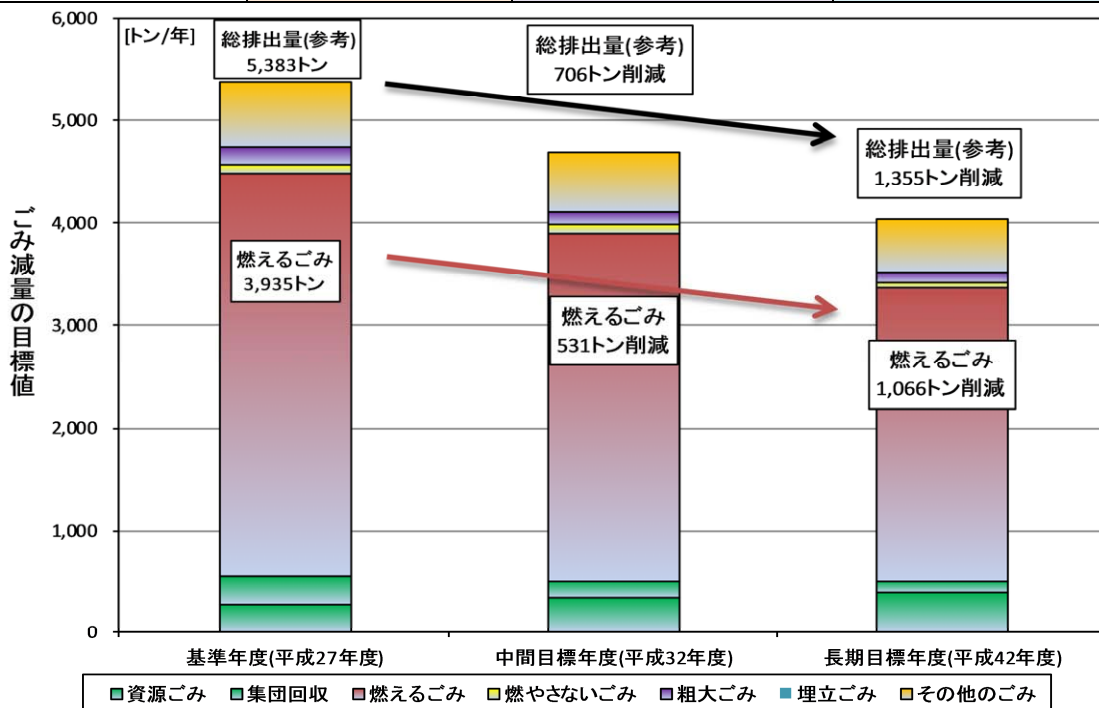
## 第5章 ごみ処理基本計画

### 第1節 ごみ減量及び再資源化目標値の設定

ごみ減量の目標値を表 5-1 及び図 5-1 に示します。減量目標は、前計画で達成できなかった事業系ごみについては引続き減量目標として据置き、前計画で十分な減量が達成された生活系ごみと最終処分量については現状レベルを維持することとします。リサイクル率については算定値に店頭回収などが含まれておらず、地域から排出された資源の一部が数えられていません。そのため新たな目標値を設定することはしませんが、前計画の中間目標値である 21.7%を目安として今後も向上に努めることとします。また、前計画で減量目標値 3,404 トンを設定していた焼却処理量については、新計画では燃えるごみの減量目標として見直しました。

表 5-1 ごみ減量の基準値と目標値

	平成 27 年度 (新基準年度)	平成 34 年度 (新中間目標年度)	平成 42 年度 (新長期目標年度)
総排出量 (参考) ※	5,383 [トン/年]	4,677 [トン/年]	4,028 [トン/年]
生活系ごみ	3,348 [トン/年]	前計画での長期目標を達成しているため、新たな目標は設定せず、今後も低い水準を保つこととします。	
事業系ごみ	1,758 [トン/年]	1,571 [トン/年]	1,401 [トン/年]
リサイクル率	20.3 [%]	21.7 [%]	21.7 [%]
最終処分量	702 [トン/年]	前計画での長期目標を達成しているため、新たな目標は設定せず、今後も低い水準を保つこととします。	
燃えるごみ	3,935 [トン/年]	3,404 [トン/年]	2,869 [トン/年]



※ 総排出量 (参考) は、本町から発生する全てのごみ量を把握するため集団回収量を含めています。

図 5-1 ごみ削減量の推移



## 第2節 計画推進方法

本町ではごみ削減目標を達成するために、PDCA サイクル（計画の策定、実行、評価、改善）による計画の進行管理を行います。Plan（計画）については、前計画の中間評価によって明らかとなった課題について解決可能な計画を策定しました。Do（実行）については、下記に示す施策などを実施します。Check（評価）は年度毎に実施することを基本とし、改善は概ね5年を目処に計画の適正化を図ります。

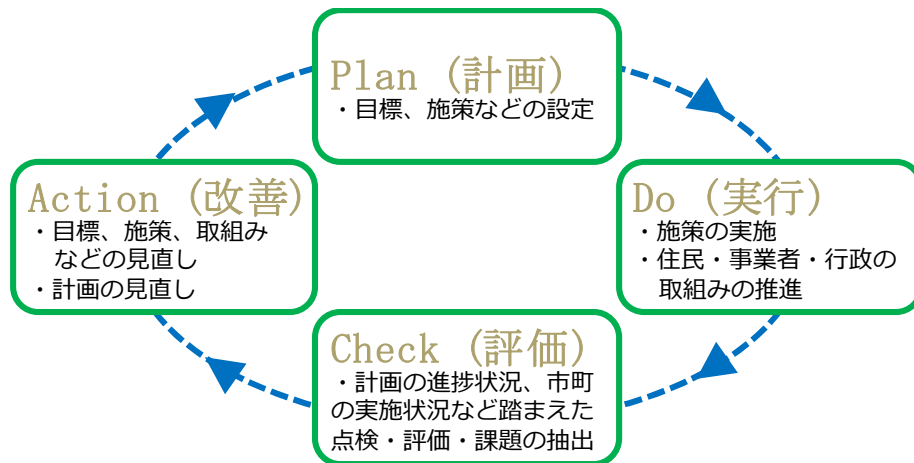


図 5-2 PDCA サイクルに基づく計画の進行管理

### ごみ分別の情報提供の充実

ごみ削減などに係わる施策などについて、次の通り実施して行きます。

- 燃えるごみ、燃やさないごみ及び資源ごみなどの分別排出区分を明確にするとともに周知徹底を図ります。
- 多くの町民に広報誌、ホームページ及びケーブルテレビなど多様な手段により情報を提供します。
- 分別収集後、異物などが混入した場合の問題点をできる限り具体的に町民の皆様に伝えます。
- ごみに関する相談で来庁される方や電話でのお問い合わせに対して、住民登録窓口と連携して転入者への町の排出ルールの周知徹底などを図ります。
- 不適正排出ごみに回収時、警告シールを貼付け排出ルールの徹底を図ります。
- ごみ集積所の表示ステッカーを作成し区分排出の徹底を図ります。
- 紙容器包装の分別排出については、分かりやすい分別区分・名称の検討と、高齢者なども含め、見やすいカレンダーの作成を行います。

これらの取組みにより、燃えるごみ排出量を一人一日当たり約 30 グラム削減と、生活系ごみに含まれる資源ごみ約 5%の回収を目指します。



### 古紙類の回収

古紙類（紙容器包装）の回収を2ヶ月に1回から1ヶ月に1回に増やす事で、燃えるごみの排出量を約1%削減し、資源ごみ排出量を一人一日当たり約7グラム増やすことを目指します。

### 燃えるごみ減量施策

前計画の焼却処理量の目標値を達成するために、もう一押しの方なるごみ削減が必要です。そこで燃えるごみ排出量を更に一人一日当たり約31グラム削減することを目指します。

### 家庭不要品交換の実践

家庭で使わなくなったものを有効活用することで、ごみの削減を目指します。町民の皆様に「譲りたいもの」「譲ってほしいもの」を登録していただき、情報提供を実施します。

### 事業系ごみ減量施策

事業系ごみについては減量目標の達成に向けて、「簡易包装の実施」や「生ごみの飼料化」などによるごみの排出抑制、「梱包材の再使用や積極的な資源化」の取組強化を進めます。

### 集団回収の啓発と推進

集団回収は将来予測によって長期的な減少傾向が示唆されております。このまま将来予測のどおりに減少した場合、リサイクル率は下がる一方となります。そこで集団回収の啓発と推進により、一人一日当たり約5グラムの増加を目指します。

### 直接搬入ごみの削減

直接搬入ごみの1~2%を資源ごみとして提供して頂くことで、一人一日当たり約2グラムの資源増加を目指します。

### マイバックキャンペーンの実施

販売店と連携したマイバック持参運動を継続して推進します。

### 学校教育との連携強化による環境学習の充実

小学校4年生にごみ処理施設見学会を実施しています。今後ごみ処理施設見学会などの環境学習の充実を図ります。





## 第6章 生活排水処理基本計画

### 第1節 現状の把握

#### 1. 生活排水処理フロー

現行の生活排水処理フローを図6-1に、将来の処理フローを図6-2に示します。

本町では、これまで町内から発生するし尿及び浄化槽汚泥などを上郡町クリーンセンターで処理しています。しかしながら、近年では施設全体に老朽化が著しく、一方で、公共下水道の普及に伴い年間処理量が減少しています。そこで、現状に即した適切な処理を行うために、浄化槽から排出された汚泥については上郡浄化センター(公共下水道施設)で処理することを予定しています。また、汲取りのし尿については、上郡町クリーンセンターでし渣を除いたのち公共下水道に放流する予定です。

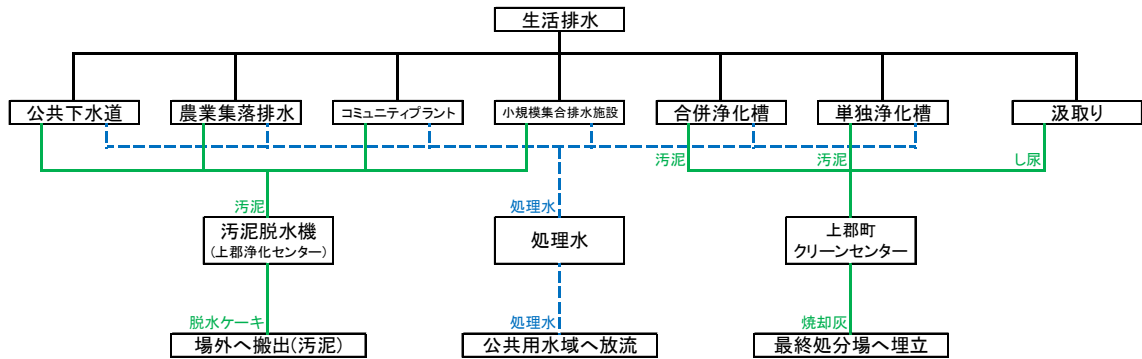


図 6-1 現状の生活排水フロー

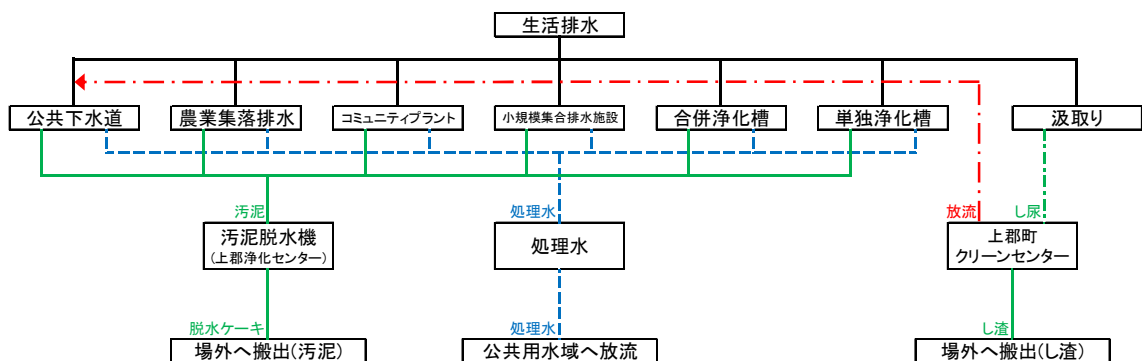


図 6-2 予定されている生活排水フロー



## 2. 生活排水処理人口の推移

本町の生活排水処理人口の推移を表 6-1 及び図 6-3 に示します。青が公共下水道人口、緑が合併浄化槽人口、黄色がコミュニティプラント人口を表わし、青・緑・黄の合計が水洗化人口となります。赤色が計画収集人口、黒が自家処理人口を表わし、赤・黒の合計が非水洗化人口となります。なお自家処理人口については過去の統計データに 60 名が集計されていましたが、現状に即して統計を見直しました。

本町では公共下水道などの普及にともない、水洗化率は 93% を達成しています。

表 6-1 生活排水処理人口の推移

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
計画収集人口	人	18,091	17,823	17,796	17,538	17,167	16,879	16,793	16,462	16,200	15,914	
	非水洗化人口	人	3,698	2,978	2,372	1,984	1,816	1,544	1,305	1,242	1,186	1,108
	計画収集人口	人	3,638	2,918	2,312	1,924	1,756	1,484	1,245	1,183	1,128	1,108
	自家処理人口	人	60	60	60	60	60	60	60	59	58	0
	水洗化人口	人	14,393	14,845	15,424	15,554	15,351	15,335	15,488	15,220	15,014	14,806
	公共下水道人口	人	9,851	10,377	10,999	11,165	11,048	11,114	11,316	11,097	10,968	10,825
	コミュニティプラント人口	人	665	638	632	642	648	621	603	591	596	595
	合併処理浄化槽人口	人	3,877	3,830	3,793	3,747	3,655	3,600	3,569	3,532	3,450	3,386
	非水洗化率	%	20.4%	16.7%	13.3%	11.3%	10.6%	9.1%	7.8%	7.5%	7.3%	7.0%
	計画収集	%	20.1%	16.4%	13.0%	11.0%	10.2%	8.8%	7.4%	7.2%	7.0%	7.0%
	自家処理	%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%
水洗化率	%	79.6%	83.3%	86.7%	88.7%	89.4%	90.9%	92.2%	92.5%	92.7%	93.0%	
公共下水道	%	54.5%	58.2%	61.8%	63.7%	64.4%	65.8%	67.4%	67.4%	67.7%	68.0%	
コミュニティプラント	%	3.7%	3.6%	3.6%	3.7%	3.8%	3.7%	3.6%	3.6%	3.7%	3.7%	
合併浄化槽	%	21.4%	21.5%	21.3%	21.4%	21.3%	21.3%	21.3%	21.5%	21.3%	21.3%	

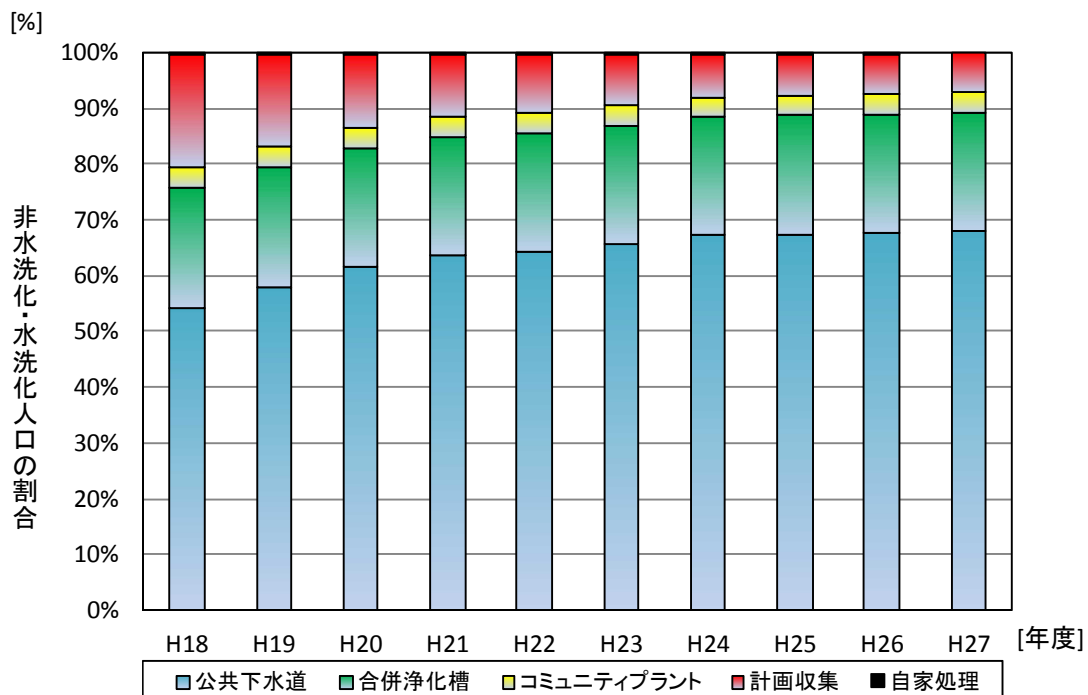


図 6-3 生活排水処理人口の推移





### 3. し尿収集量・処理量及び焼却量の推移

本町のし尿及び浄化槽汚泥の排出量と処理量を表 6-2 及び図 6-4 に示します。赤がし尿、青が浄化槽汚泥の排出量を示しています。本町のし尿排出量は減少を続けていますが、浄化槽汚泥については減少傾向が見られなくなり現在ではほぼ一定となりました。理由としては、本町では浄化槽は事業所や別荘地などで多く利用されており、本町の人口減少や施策などの影響を受けない、一定の方々に利用されているからだと考えられます。

し尿処理施設内で焼却された後に残る処理残渣は、処理量の減少にともない 10 年間で約 10 分の 1 となっています。

表 6-2 し尿及び浄化槽汚泥の排出量と処理量の推移

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
し尿収集量	委託	2,067	1,521	1,112	857	756	687	634	606	544	527
	許可	2,981	3,037	2,365	1,566	1,507	1,612	1,542	1,607	1,503	1,613
	合計	5,048	4,558	3,477	2,423	2,263	2,299	2,176	2,213	2,047	2,140
	し尿	2,067	1,521	1,112	857	756	687	634	606	544	527
	浄化槽汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自家処理量	12	12	12	12	12	12	12	8	27	0
し尿処理量	委託	2,067	1,521	1,112	857	756	687	634	606	544	527
	許可	2,981	3,037	2,365	1,566	1,507	1,612	1,542	1,607	1,503	1,613
	合計	5,048	4,558	3,477	2,423	2,263	2,299	2,176	2,213	2,047	2,140
	し尿	2,067	1,521	1,112	857	756	687	634	606	544	527
	浄化槽汚泥	2,981	3,037	2,365	1,566	1,507	1,612	1,542	1,607	1,503	1,613
	自家処理量	12	12	12	12	12	12	12	8	27	0
し尿処理施設内の焼却	し尿処理施設からの処理量	0	0	0	45	22	20	11	14	14	11
	し尿処理施設・処理後の残渣	22	20	18	16	8	7	4	2	2	2
	処理残渣搬出量	22	20	18	45	8	20	4	2	2	2
	自家処理量	12	12	12	12	12	12	12	8	27	0

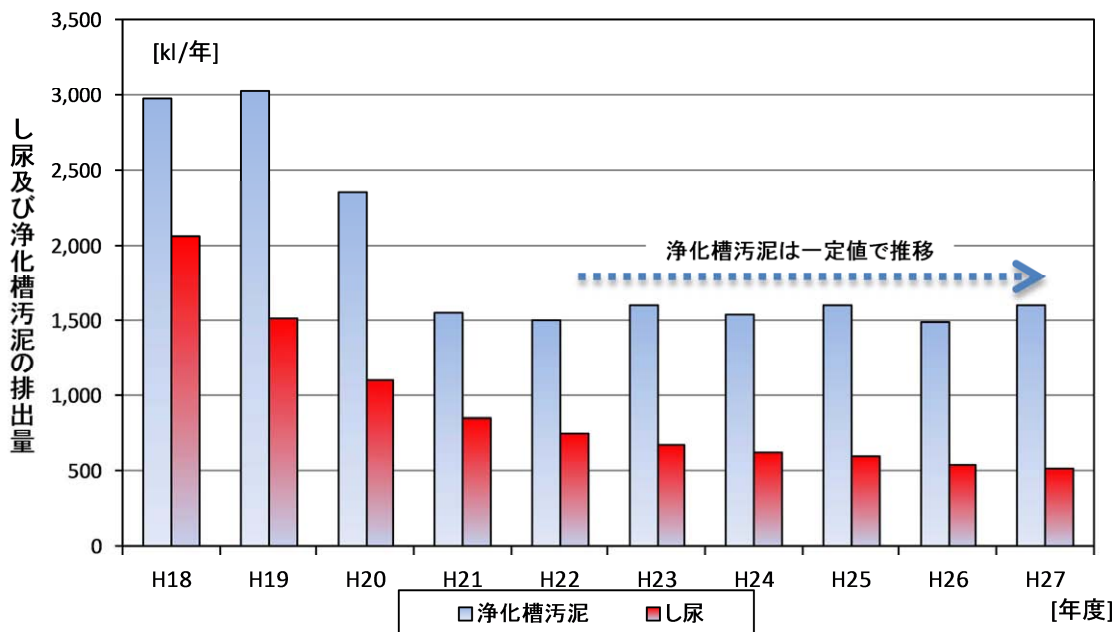


図 6-4 し尿及び浄化槽汚泥の排出量の推移



#### 4. 水洗化・非水洗化人口の将来予測

本町における水洗化・非水洗化人口の将来予測を図 6-5 に示します。青が水洗化人口、赤が非水洗化人口を表わし、緑は水洗化率を示しています。

水洗化人口は平成 21 年度まで増加していましたが、平成 22～24 年度まで横這いとなり、平成 25 年度以降は減少傾向となっています。これは公共下水道の普及によって増加を続けていた水洗化人口が、町全体の人口減少の影響によって、将来的には減少する可能性を示唆しています。

将来推計を実施した結果、水洗化人口は 15 年間で約 2,600 人減少すると予測されます。一方で非水洗化人口も減少するため、水洗化率は微増が続くと予測されます。

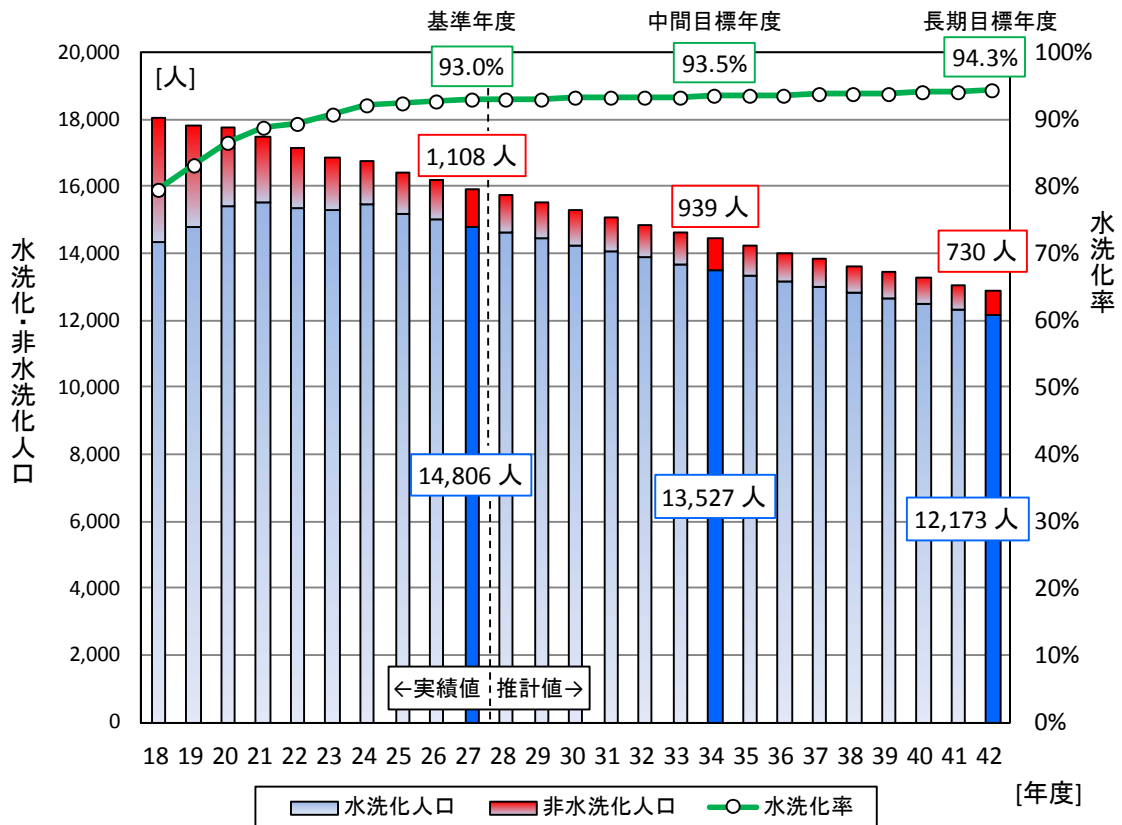


図 6-5 水洗化・非水洗化人口の将来推計



### 5. し尿・浄化槽汚泥収集量の将来予測

本町における、し尿・浄化槽汚泥の将来予測を図 6-6 に示します。赤がし尿、青が浄化槽汚泥を示しています。浄化槽汚泥の収集量は横這い、し尿の収集量は微減と予測されます。

以上の推計（予測）結果を基に、生活排水処理についての基本計画を策定します。

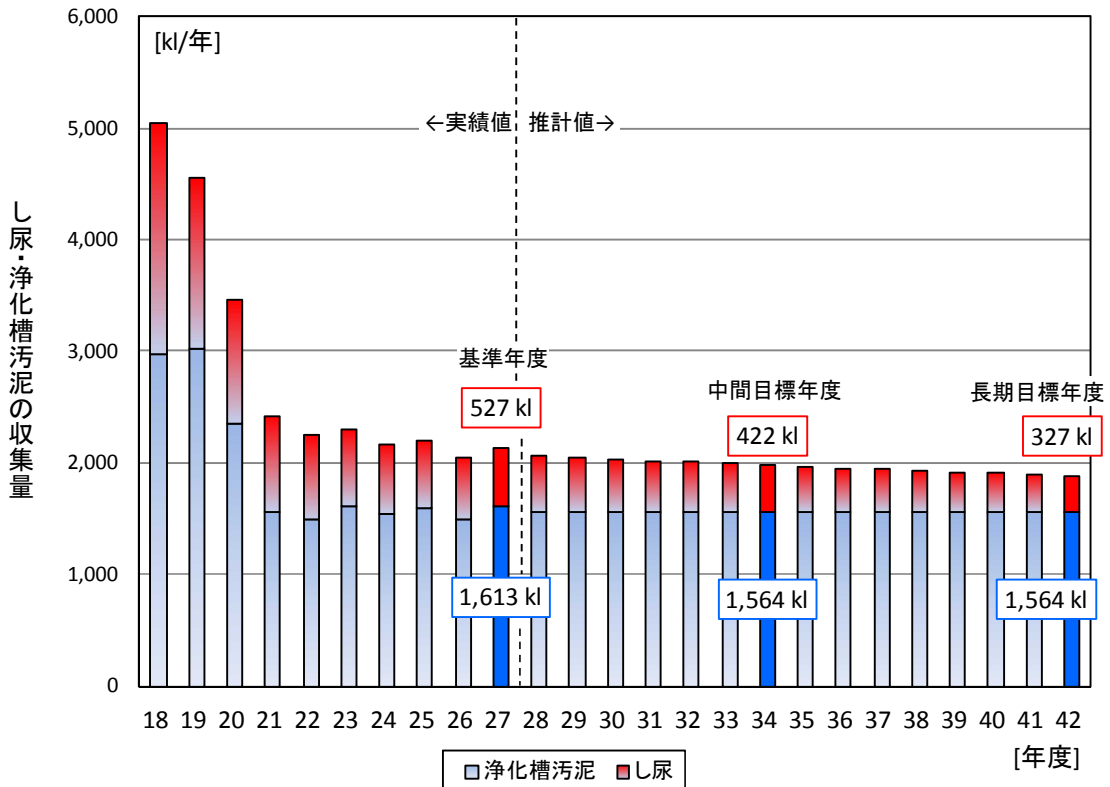


図 6-6 し尿・浄化槽汚泥収集量の将来推計



## 第2節 基本計画

### 1. 収集運搬計画

し尿及び浄化槽汚泥の収集量は近年では微減もしくは一定と予測されております。従って、収集・運搬体制については今後も現行の体制を維持します。

### 2. 中間処理計画

これまで収集し尿および浄化槽汚泥の中間処理については、上郡町クリーンセンターで適正に処理していましたが、しかしながら施設の老朽化や、一方では公共下水道の普及に伴う処理量の減少が見込まれています。そこで現状に即した適切な処理を行うため、今後は浄化槽から排出された汚泥を、上郡浄化センター(公共下水道施設)で処理することを予定しています。

### 3. 最終処分計画

中間処理後の処理残渣は、これまでは上郡町クリーンセンターで焼却処理を実施していましたが、今後はにしはりまクリーンセンターの熱回収施設での焼却処理を予定しています。

### 4. 浄化槽対策計画

浄化槽については適正な維持・管理を行うよう、町民の皆様へお願いします。

## 第3節 生活排水処理に関する取組

広報誌やケーブルテレビなどを活用し、町民の皆様により広く情報を提供し、家庭でできる取組などをお願いします。

### 家庭でできる取組

- 固形物をできるだけ除去する。
- 洗剤の使用量をできるだけ少量にする。
- 食べ残し、油脂などは排出しない。
- 浄化槽などの適切な維持管理を行う。

## 資料I ごみ排出量の将来推計

### 1. 推計の方法

将来推計（予測）は平成18～27年度までの10年間の実績値に基づき、平成28～42年度までの15年間のトレンド(すう勢)推計式を用いて推計（予測）しました。推計式には「基準年度と同じ水準で推移する」と仮定した横這い推計の他に、一般的に用いられるもののうち7式を採用しました。これら7式の主な傾向としては、分数式が最も大きな値を示し、ロジスティック式が最も小さな値を示す傾向があります。指数式はこれら7式の間の中間の傾向が多いです。

表I-1 トренд(すう勢)推計式

推計方法	推計式	凡例
横這い	—	基準年度と同じ水準で推移
分数式	$y = \frac{a}{t} + b$	$y$ : 将来予測人口 $t$ : 将来予測年度  $a, b, c$ : 最小二乗法により求められる、係数 $k$ : 過去の実績値から求められる、人口の飽和値
べき乗式	$y = at^b$	
対数式	$y = a \cdot \ln(t) + b$	
指数式	$y = a \cdot \exp(bt)$	
一次式	$y = at + b$	
二次関数式	$y = at^2 + bt + c$	
ロジスティック式	$y = \frac{k}{1 + \exp(a - bt)}$	

ごみ排出量の将来予測については分別区分ごとに推計（予測）しました。閏年や将来人口を年度毎に考慮するため式で表すと表I-2のように複雑に見えますが、一人一日あたりのごみ排出量に人口を乗じることで、ごみ排出量を算定しています。なお排出量の単位をトンに変換するために、係数1,000,000で割っています。

これらの定義に基づき、本町における人口とごみ排出量の将来予測を実施します。

表I-2 ごみ排出量の推計式

$Wast_{ij} = (Unit_{ij} \times Population_i \times Days_i) \div 1,000,000$		
$Wast$	[トン/年]	ごみ排出量
$Unit$	[g/人日]	一人一日あたりのごみ排出量
$Population$	[人]	将来人口
$Days$	[日]	365もしくは366(うるう年)
$i$	年度	平成28～42年度
$j$	種類	可燃・不燃・粗大・資源・埋立・その他など

## 2. 人口の将来推計

### 1) 推計結果

各種推計式から得られた値を表I-3、図I-1に示します。横這い推計は近年の人口減少率-1.8%で推移した場合の値としました。

推計値は分数推計が最も緩やかな推移を示し、ロジスティック推計が最も急激な減少を示しました。ただし、ロジスティック推計は人口減少が急激なため、本計画ではロジスティック推計を除いた推計式で中間の人口減少率を示した指数推計を推計式として採用しました。

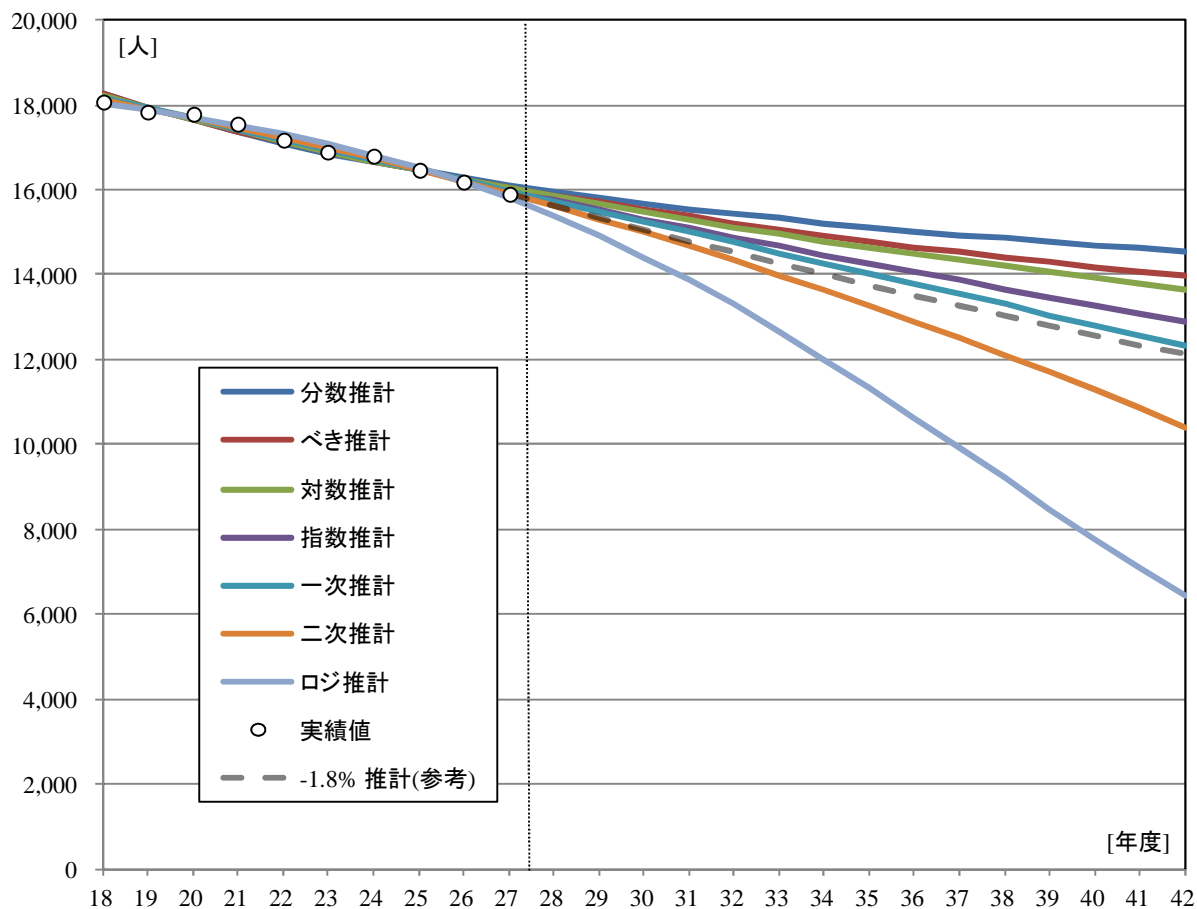
将来人口は中間目標年度で14,457人、長期目標年度で12,903人と予測されています。

本町の将来人口は組合などでも予測されており、整合性の確認のため比較を行います。

将来人口の推計  
指数推計を採用(平成42年度に12,903人)

表I-3 将来人口の予測結果

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
分数推計	15,955	15,810	15,676	15,549	15,431	15,320	15,216	15,117	15,024	14,936	14,852	14,773	14,698	14,627	14,558
べき推計	15,871	15,696	15,528	15,368	15,215	15,067	14,926	14,790	14,658	14,532	14,410	14,292	14,178	14,068	13,961
対数推計	15,844	15,655	15,472	15,295	15,124	14,959	14,798	14,642	14,490	14,342	14,199	14,059	13,922	13,789	13,660
指数推計	15,762	15,539	15,318	15,101	14,886	14,675	14,467	14,261	14,059	13,859	13,662	13,468	13,277	13,089	12,903
一次推計	15,728	15,485	15,241	14,998	14,755	14,511	14,268	14,025	13,782	13,538	13,295	13,052	12,808	12,565	12,322
二次推計	15,615	15,310	14,994	14,669	14,333	13,986	13,630	13,263	12,886	12,498	12,101	11,693	11,274	10,846	10,407
ロジ推計	15,379	14,920	14,419	13,876	13,294	12,673	12,020	11,339	10,637	9,921	9,200	8,482	7,775	7,087	6,424
-1.8% 推計(参考)	15,628	15,346	15,070	14,799	14,532	14,271	14,014	13,762	13,514	13,271	13,032	12,797	12,567	12,341	12,119



図I-1 将来人口の予測結果

資I-2



## 2) 関連計画との比較

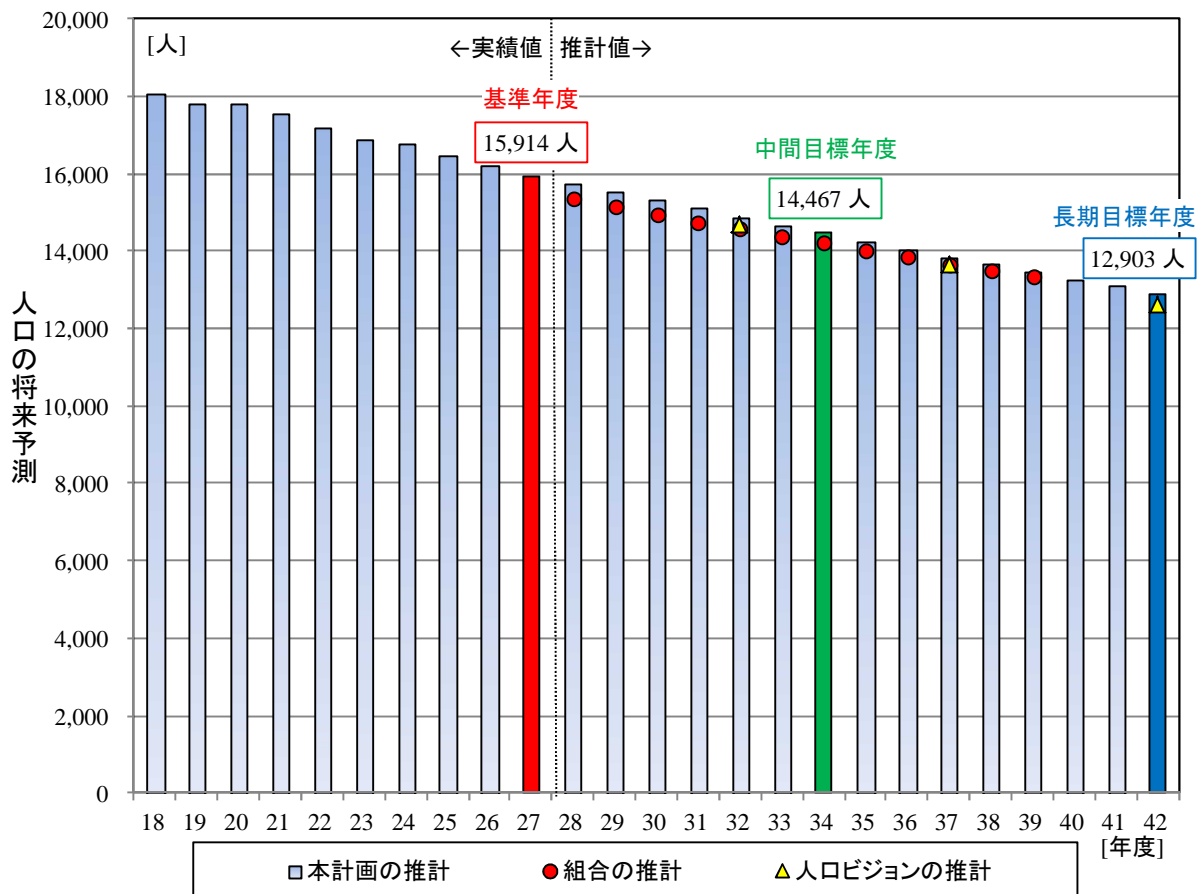
関連計画との比較を図I-2に示します。棒グラフが本計画での推計、赤丸が組合の推計、黄色の三角が「上郡町人口ビジョンの推計」です。推計値を比較する前に注意点として、これら3種の推計がそれぞれ異なる基礎データを採用している事を理解する必要があります。

組合の推計は平成25年度に公表された3年前の推計値です。従って近年の大幅な人口減少を推計に含んでいません。「上郡町人口ビジョン」の推計は国立社会保障・人口問題研究所の公表値を採用した推計値です。人口問題研究所の推計は国勢調査を基とした総人口の将来推計であるため、本計画や組合が基礎データとして採用した住民基本台帳の計画収集人口とは異なる統計データです。また、国勢調査は5年毎に実施されるため公表されている最新のデータが平成22年度と古く、従って、本計画ではより新しい実績値を基に将来推計を行いました。

以上を踏まえても、それぞれの予測結果に著しい乖離は認められませんでした。

表I-4 関連計画との比較

	平成32年度	平成34年度	平成37年度	平成42年度
本計画	14,886	14,467	13,859	12,903
上郡町人口ビジョン	14,695	-	13,673	12,641
組合	14,569	14,201	13,666	-



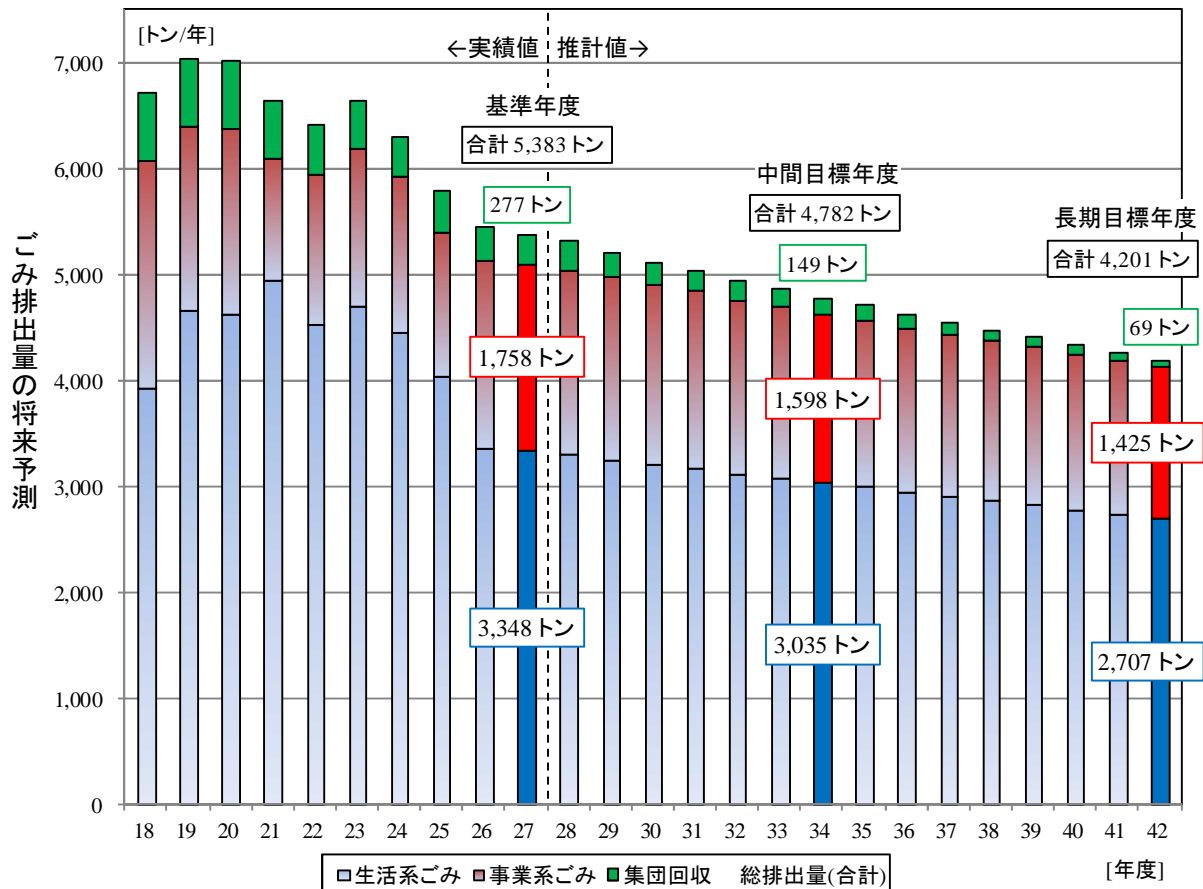
図I-2 関連計画の人口予測との比較

### 3. ごみ排出量の将来推計

ごみ排出量の将来予測については、燃えるごみ・燃やさないごみ・資源ごみ・粗大ごみ・その他のごみについて、それぞれ推計（予測）を行いました。それぞれについての説明は次ページ以降で記し、まず各項目の推計結果を集計した合計値を表I-5及び図I-3にまとめて示します。ごみ排出量は減少傾向が予測されており、総量としては中間目標年度で4,782トン、長期目標年度で4,201トンとなっています。

表I-5 ごみ排出量の将来予測

		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
計画収集人口	人	15,762	15,539	15,318	15,101	14,886	14,675	14,467	14,261	14,059	13,859	13,662	13,468	13,277	13,089	12,903
収集ごみ	t/年	4,107	4,049	3,991	3,945	3,879	3,824	3,769	3,726	3,663	3,611	3,560	3,519	3,460	3,410	3,362
燃えるごみ	t/年	3,703	3,651	3,599	3,557	3,497	3,448	3,399	3,360	3,303	3,256	3,210	3,173	3,119	3,075	3,031
燃やさないごみ	t/年	67	66	65	65	63	63	62	61	60	59	58	58	57	56	55
資源ごみ	t/年	257	253	250	247	243	239	236	233	229	226	223	220	216	213	210
粗大ごみ	t/年	56	56	55	54	53	52	52	51	50	50	49	48	47	47	46
その他のごみ	t/年	24	23	23	23	22	22	22	22	21	21	21	20	20	20	19
直接搬入ごみ	t/年	936	923	910	900	884	872	859	850	835	823	812	802	789	778	767
燃えるごみ	t/年	184	181	179	176	174	171	169	167	164	162	159	157	155	153	150
燃やさないごみ	t/年	15	15	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	12	12	12
資源ごみ	t/年	24	23	23	23	22	22	22	22	21	21	21	20	20	20	19
粗大ごみ	t/年	108	106	105	103	102	100	99	98	96	95	93	92	91	89	88
埋立ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のごみ	t/年	606	598	589	583	573	565	557	550	541	533	526	520	511	504	496
合計	t/年	5,005	4,972	4,901	4,845	4,763	4,696	4,629	4,576	4,498	4,435	4,372	4,321	4,248	4,188	4,129
燃えるごみ	t/年	3,887	3,832	3,777	3,734	3,671	3,619	3,567	3,526	3,467	3,418	3,369	3,330	3,274	3,228	3,182
燃やさないごみ	t/年	82	81	80	79	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67
資源ごみ	t/年	242	277	273	269	265	261	257	255	250	247	243	240	236	233	230
粗大ごみ	t/年	164	162	159	158	155	153	150	149	146	144	142	140	138	136	134
埋立ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のごみ	t/年	630	621	612	605	595	587	578	572	562	554	546	540	531	523	516
集団回収	t/年	268	243	220	201	182	165	149	136	123	112	101	92	83	76	69
排出源別搬出量	t/年	5,048	4,977	4,906	4,850	4,767	4,700	4,633	4,580	4,503	4,439	4,375	4,326	4,253	4,192	4,132
生活系ごみ	t/年	3,307	3,260	3,214	3,177	3,123	3,079	3,035	3,000	2,950	2,908	2,866	2,834	2,786	2,746	2,707
事業系ごみ	t/年	1,741	1,717	1,692	1,673	1,644	1,621	1,598	1,580	1,553	1,531	1,509	1,492	1,467	1,446	1,425



図I-3 ごみ排出量の実績値と予測値の推移

資料I-4

## 1) 燃えるごみの推計結果

一人一日あたりの燃えるごみ排出量の推計結果を示します。黒の実線が本計画で採用した将来推計です。

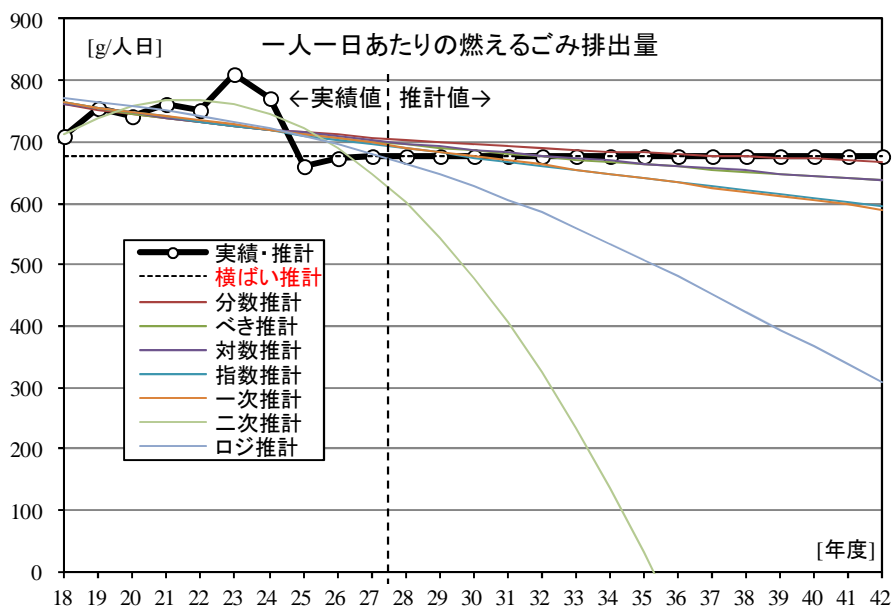
一人一日あたりの燃えるごみ排出量は平成23年度をピークに減少していましたが平成25年度以降は横這い傾向となっています。平成27年度に本町で実施した無作為抽出アンケートでは、回答が得られた810件のうち約65%の方々がごみ減量について、「減量化できない（既に分別など対応に工夫している。）」と回答されています。この結果は、本町においてはごみ減量が進んだ結果、「更なるごみ削減を続けることが従来よりも困難になった」と、町民の皆様が認識されている可能性を示しています。このような状況ですが、循環型社会の推進を行うためには更なるごみ減量を続ける必要があります。本町では今後も町民の皆様のご理解とご協力のもと、燃えるごみの削減を図ります。

将来推計については現状を鑑み、横這い推計を推計値として採用しました。ただし本町では推計値を参考にしつつも、一方で各種推計式を総合的に判断し、より多くの削減目標を定めます。

一人一日あたりの燃えるごみ排出量の推計  
横這い推計を採用(平成42年度に675.6 [g/人日])

表I-6 一人一日あたりの燃えるごみ排出量の将来予測

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
採用値	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6
横ばい推計	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6	675.6
分数推計	703.1	699.5	696.1	693.0	690.0	687.3	684.7	682.2	679.9	677.7	675.6	673.7	671.8	670.0	668.3
べき推計	695.1	690.0	685.1	680.4	675.8	671.4	667.2	663.1	659.2	655.4	651.7	648.1	644.7	641.3	638.1
対数推計	697.4	692.2	687.2	682.4	677.7	673.2	668.8	664.5	660.4	656.4	652.4	648.6	644.9	641.2	637.7
指数推計	689.0	681.9	674.9	668.0	661.1	654.3	647.6	641.0	634.4	627.9	621.4	615.0	608.7	602.4	596.3
一次推計	691.0	683.8	676.6	669.4	662.1	654.9	647.7	640.5	633.2	626.0	618.8	611.5	604.3	597.1	589.9
二次推計	600.5	543.8	479.0	405.9	324.5	235.0	137.1	31.1	-83.2	-205.7	-336.4	-475.4	-622.6	-778.0	-941.7
ロジ推計	664.7	646.8	627.4	606.3	583.8	559.7	534.4	507.8	480.3	452.1	423.3	394.4	365.7	337.3	309.6



図I-4 一人一日あたりの燃えるごみ排出量の将来予測

## 2) 燃やさないごみの推計結果

一人一日あたりの燃やさないごみ排出量の推計結果を示します。黒の実線が本計画で採用した将来推計です。

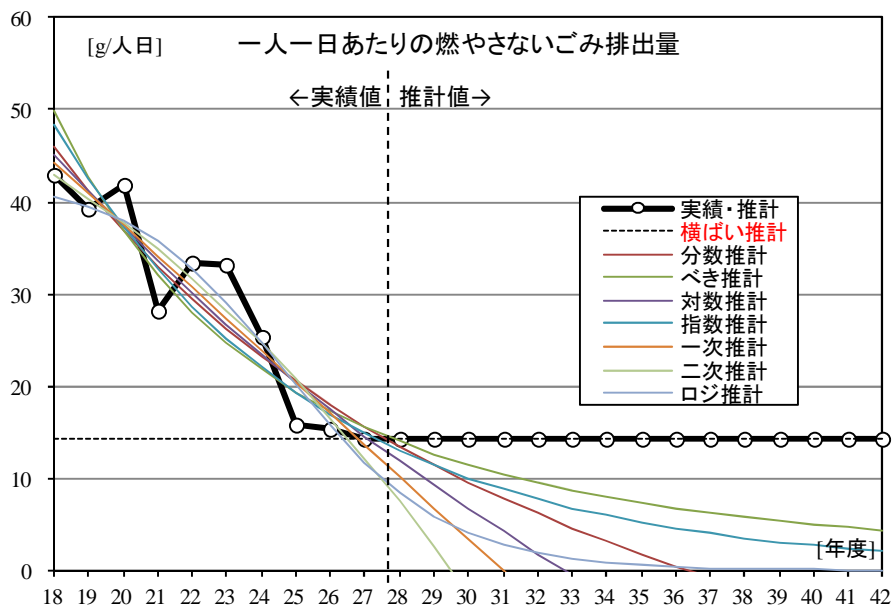
一人一日あたりの燃やさないごみ排出量は急激な減少傾向にあります。平成25年度を境に微減傾向に遷移しています。このように実績値が不連続となる特長は先に述べた燃えるごみと同じ傾向です。そこで将来予測においては実績値の連続性の欠如を考慮する必要がありますが、実績値の2つの特長である「長期的には明かに減少傾向」と「近年は横這い傾向に遷移した」を適切に反映できる推計式がありません。従って、燃やさないごみの将来予測についても、燃えるごみと同様に最も近年の推移に近い横這い推計を採用しました。

各種推計式は多くがマイナスもしくはゼロの値を示しており、これは燃やさないごみの減量がハイペースで進んで来たことを示唆しています。従って、現状でも十分な減量が進んでいると判断し、燃やさないごみの削減目標については、町民の皆様に過度な負担をお願いせず、現状維持に近い値を定めることとします。

一人一日あたりの燃やさないごみ排出量の推計  
横這い推計を採用(平成42年度に14.3 [g/人日])

表I-7 一人一日あたりの燃やさないごみ排出量の将来予測

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
採用値	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
横ばい推計	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
分数推計	13.4	11.4	9.5	7.8	6.1	4.6	3.1	1.7	0.4	-0.8	-2.0	-3.1	-4.1	-5.1	-6.1
べき推計	14.0	12.6	11.5	10.4	9.5	8.7	8.0	7.3	6.8	6.3	5.8	5.4	5.0	4.7	4.3
対数推計	11.9	9.2	6.6	4.2	1.8	-0.5	-2.8	-5.0	-7.1	-9.2	-11.2	-13.1	-15.0	-16.9	-18.7
指数推計	13.0	11.4	10.0	8.8	7.7	6.8	5.9	5.2	4.6	4.0	3.5	3.1	2.7	2.4	2.1
一次推計	10.2	6.8	3.4	-0.1	-3.5	-6.9	-10.3	-13.7	-17.1	-20.5	-24.0	-27.4	-30.8	-34.2	-37.6
二次推計	7.4	2.5	-2.7	-8.1	-13.8	-19.7	-25.8	-32.3	-38.9	-45.9	-53.0	-60.5	-68.2	-76.1	-84.3
ロジ推計	8.4	5.9	4.0	2.7	1.8	1.2	0.8	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0



図I-5 一人一日あたりの燃やさないごみ排出量の将来予測

### 3) 資源ごみの推計結果

一人一日あたりの資源ごみ排出量の推計結果を示します。黒の実線が本計画で採用した将来推計です。

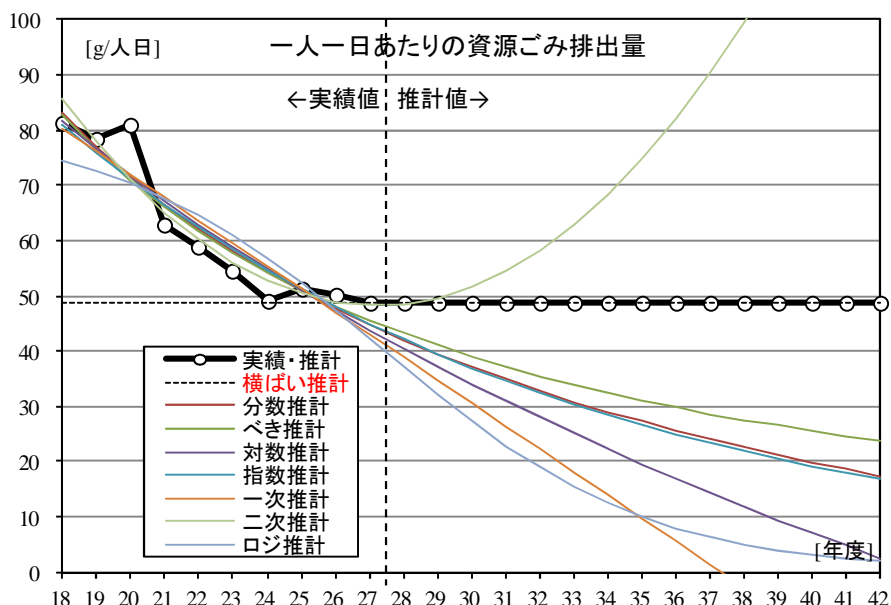
一人一日あたりの資源ごみ排出量は急激な減少傾向にあります。平成25年度以降は多少の増減を繰り返しながら概ね微減傾向となっています。

各種推計式の値は多くが減少傾向を示し、推計式のうち3種がマイナスもしくはゼロに近い値となりました。これは長期的には減少が続くことを示唆しています。しかしながら、資源ごみの増減はリサイクル率に直接係わります。本町におけるリサイクル率はセメントリサイクルを開始した平成25年度以降は20%を超えており、現在の高い水準から更なる向上を目指すためには、資源ごみ収集量の増加が必要となります。本町では古紙類（紙容器）の回収を2ヶ月に1回から1ヶ月に1回に増やすなど、町民の皆様により多くの資源提供をお願いします。将来推計については、現状を鑑み横這い推計を採用しました。

一人一日あたりの資源ごみ排出量の推計  
横這い推計を採用(平成42年度に48.8 [g/人日])

表I-8 一人一日あたりの資源ごみ排出量の将来予測

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
採用値	42.1	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8
横ばい推計	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	48.8
分数推計	42.0	39.5	37.1	34.9	32.8	30.8	29.0	27.3	25.6	24.1	22.6	21.2	19.9	18.6	17.4
べき推計	43.2	41.0	39.0	37.2	35.5	33.9	32.5	31.1	29.8	28.7	27.5	26.5	25.5	24.6	23.8
対数推計	40.4	37.2	34.0	30.9	28.0	25.1	22.3	19.6	16.9	14.4	11.9	9.5	7.1	4.8	2.5
指数推計	42.1	39.4	36.9	34.6	32.4	30.3	28.4	26.6	24.9	23.3	21.8	20.5	19.2	17.9	16.8
一次推計	38.8	34.7	30.5	26.4	22.2	18.1	13.9	9.8	5.7	1.5	-2.6	-6.8	-10.9	-15.1	-19.2
二次推計	48.5	49.6	51.6	54.5	58.3	62.9	68.5	74.9	82.2	90.3	99.4	109.3	120.1	131.8	144.3
ロジ推計	37.1	32.0	27.3	22.9	18.9	15.5	12.5	10.1	8.0	6.4	5.0	3.9	3.1	2.4	1.9



図I-6 一人一日あたりの資源ごみ排出量の将来予測

#### 4) 粗大ごみの推計結果

一人一日あたりの粗大ごみ排出量の推計結果を示します。黒の実線が本計画で採用した将来推計です。

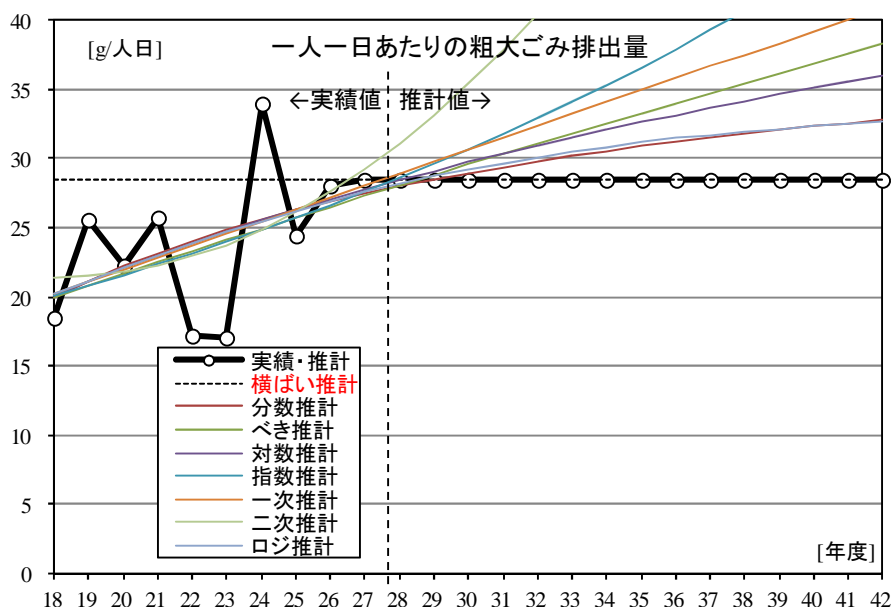
一人一日あたりの粗大ごみ排出量は、増加・減少を繰返しつつ近年は横這い傾向となっています。

将来推計については、他のごみと同様に現状を鑑み、横這い推計を採用しました。しかしながら、各種推計式は全て増加傾向を示しており長期的には増量が示唆されています。本町では家庭不用品交換の実践などを推進し、粗大ごみの削減を図ります。

一人一日あたりの粗大ごみ排出量の推計  
横這い推計を採用(平成42年度に28.5 [g/人日])

表I-9 一人一日あたりの粗大ごみ排出量の将来予測

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
採用値	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5
横ばい推計	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5
分数推計	28.0	28.5	29.0	29.4	29.8	30.2	30.5	30.9	31.2	31.5	31.8	32.1	32.3	32.6	32.8
べき推計	28.1	28.8	29.6	30.3	31.1	31.8	32.6	33.3	34.0	34.7	35.5	36.2	36.9	37.6	38.3
対数推計	28.4	29.1	29.7	30.3	30.9	31.5	32.1	32.6	33.2	33.7	34.2	34.7	35.2	35.6	36.1
指数推計	28.6	29.6	30.7	31.8	32.9	34.1	35.4	36.6	37.9	39.3	40.7	42.2	43.7	45.2	46.9
一次推計	28.9	29.8	30.6	31.5	32.3	33.2	34.1	34.9	35.8	36.7	37.5	38.4	39.2	40.1	41.0
二次推計	31.1	33.1	35.4	37.9	40.5	43.4	46.4	49.7	53.2	56.8	60.7	64.7	69.0	73.5	78.1
ロジ推計	28.1	28.7	29.2	29.7	30.1	30.5	30.8	31.2	31.5	31.7	32.0	32.2	32.4	32.5	32.7



図I-7 一人一日あたりの粗大ごみ排出量の将来予測



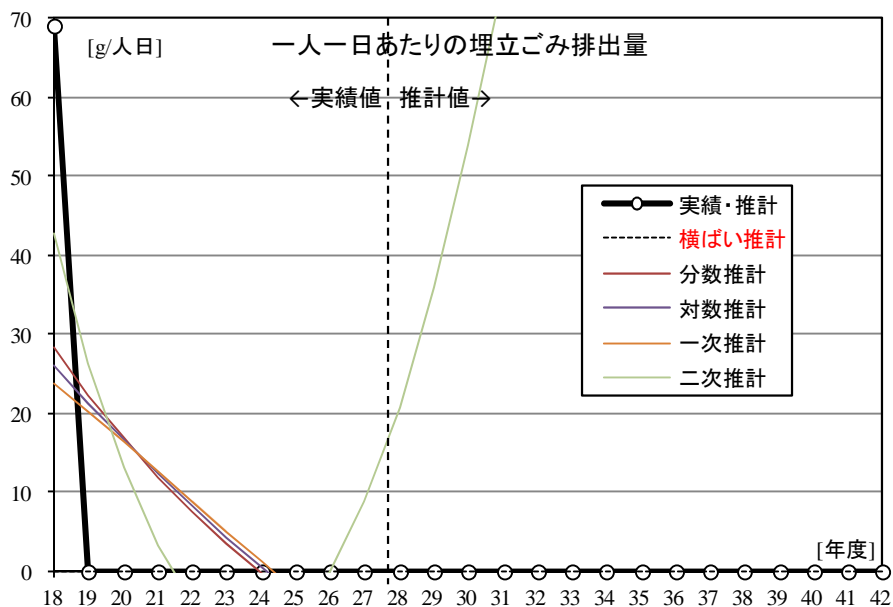
### 5) 埋立ごみの推計結果

ごみ処理の概要（環境省）では、本町で発生した埋立ごみはその他のごみとして集計されるため、集計上は一人一日あたりの埋立ごみ排出量はゼロとなっています。

**埋立ごみの推計**  
横這い推計を採用(0.0 [g/人日])

表I-10 一人一日あたりの埋立ごみ排出量の将来予測

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
採用値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
横ばい推計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
分数推計	-12.7	-15.2	-17.6	-19.9	-21.9	-23.9	-25.7	-27.5	-29.1	-30.7	-32.1	-33.5	-34.9	-36.1	-37.3
べき推計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
対数推計	-13.3	-16.4	-19.4	-22.4	-25.2	-27.9	-30.6	-33.2	-35.7	-38.1	-40.5	-42.8	-45.0	-47.2	-49.4
指数推計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一次推計	-13.8	-17.6	-21.3	-25.1	-28.9	-32.6	-36.4	-40.2	-43.9	-47.7	-51.5	-55.2	-59.0	-62.8	-66.5
二次推計	20.7	35.8	54.0	75.3	99.8	127.4	158.2	192.1	229.1	269.3	312.6	359.1	408.7	461.4	517.3
ロジ推計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



図I-8 一人一日あたりの埋立ごみ排出量の将来予測

## 6) その他のごみの推計結果

一人一日あたりのその他のごみ排出量の推計結果を示します。黒の実線が本計画で採用した将来推計です。推計値は実績値の連続性の欠如を考慮し横這い推計を採用しています。

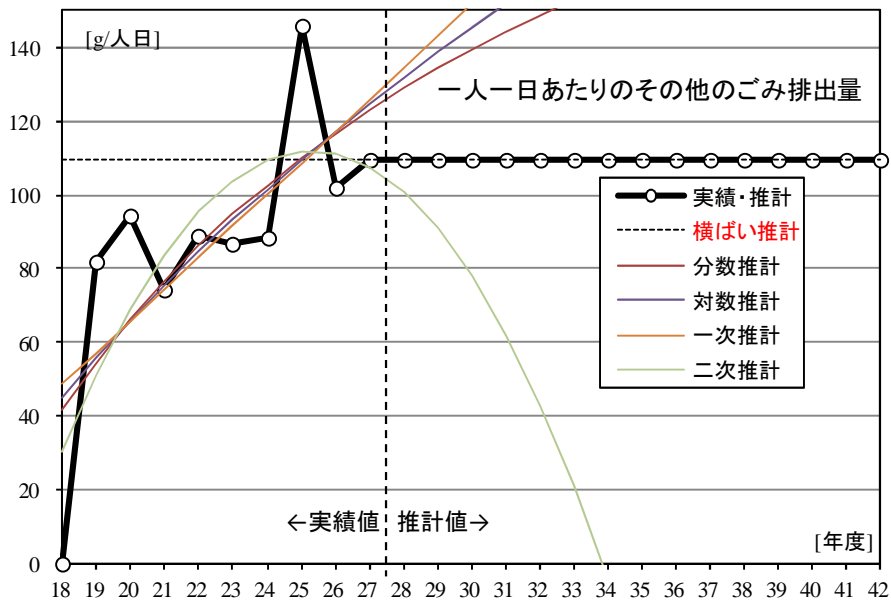
一人一日あたりのその他のごみ排出量は、平成25年度に一時的に大きく増加しました。翌年には減少しましたが、各種推計式は長期的な増加傾向を示しています。

その他のごみには集計上、直接資源化されるごみと直接最終処分されるごみの2項目が計上されています。本町では主に埋立ごみが占めており、その他のごみの増加は直接最終処分量の増加を示唆しています。最終処分量についてはセメントリサイクルの開始により大幅な削減ができましたが、今後も最終処分量を低い水準に保つため、その他のごみについても削減する必要があります。

**その他ごみの推計**  
横這い推計を採用(平成42年度に109.5 [g/人日])

表I-11 一人一日あたりのその他のごみ排出量の将来予測

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
採用値	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5
横ばい推計	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5
分数推計	128.9	134.4	139.4	144.2	148.6	152.8	156.7	160.4	163.9	167.2	170.4	173.3	176.2	178.9	181.4
べき推計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
対数推計	131.7	138.6	145.3	151.7	157.9	164.0	169.8	175.5	181.0	186.4	191.7	196.8	201.7	206.6	211.3
指数推計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一次推計	134.5	143.1	151.7	160.3	168.9	177.5	186.1	194.7	203.3	211.9	220.5	229.2	237.8	246.4	255.0
二次推計	100.7	90.8	77.9	61.9	42.9	20.7	-4.5	-32.7	-64.1	-98.5	-136.0	-176.6	-220.3	-267.0	-316.8
ロジ推計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



図I-9 一人一日あたりのその他のごみ排出量の将来予測

## 7) 集団回収の推計結果

一人一日当たりの集団回収量の推計結果を示します。黒の実線が本計画で採用した将来推計です。集団回収については実績値に連続性の欠如が認められません。

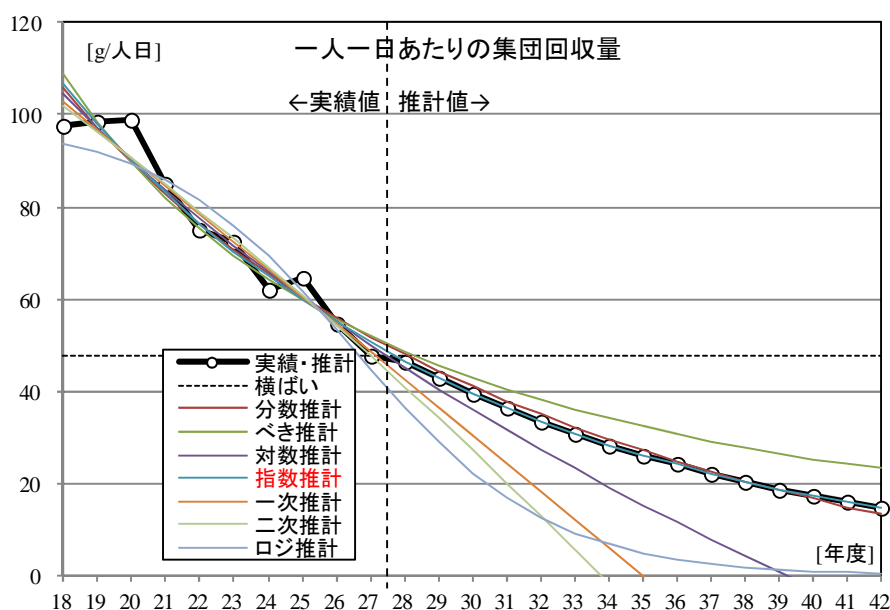
集団回収は減少が続いており、各種推計式でも長期的な減少が示唆されています。従って、大幅な増加を望むことは困難な状況であると考えられます。原因の1つとしては、これまで集団回収に提供されていた資源の一部が、スーパーマーケットなどでの店頭回収に提供された可能性が考えられます。町民の皆様については集団回収と店頭回収のどちらでも利用できる環境が整いつつありますが、本町においては今後も集団回収へのご協力をお願いし続けます。

将来予測はマイナスもしくはゼロの値を示した推計式を除いて、中間の値を示した指数式を採用しました。予測値としては中間目標年度である平成34年度で28.3 g/人日、長期目標年度である平成42年度で14.6 g/人日となりました。リサイクル率の更なる向上を目指すため、本町においては集団回収の啓発と推進により、予測値よりも多くの資源を回収することとします。

**集団回収の推計**  
指数推計を採用(平成42年度に14.6 [g/人日])

表I-12 一人一日あたりの集団回収量の将来予測

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
採用値	46.5	42.8	39.4	36.3	33.4	30.8	28.3	26.1	24.0	22.1	20.3	18.7	17.2	15.9	14.6
横ばい推計	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6	47.6
分数推計	47.9	44.3	41.0	37.8	34.9	32.1	29.5	27.0	24.7	22.5	20.5	18.5	16.6	14.8	13.1
べき推計	48.5	45.5	42.7	40.3	38.0	35.9	34.0	32.3	30.6	29.1	27.8	26.5	25.3	24.2	23.1
対数推計	45.2	40.5	35.9	31.5	27.3	23.1	19.1	15.3	11.5	7.8	4.2	0.8	-2.6	-5.9	-9.2
指数推計	46.5	42.8	39.4	36.3	33.4	30.8	28.3	26.1	24.0	22.1	20.3	18.7	17.2	15.9	14.6
一次推計	42.3	36.3	30.2	24.2	18.1	12.1	6.1	0.0	-6.0	-12.1	-18.1	-24.2	-30.2	-36.3	-42.3
二次推計	40.9	34.1	27.1	20.0	12.8	5.4	-2.1	-9.7	-17.4	-25.3	-33.3	-41.5	-49.7	-58.1	-66.7
ロジ推計	36.3	28.8	22.2	16.8	12.5	9.2	6.6	4.8	3.4	2.4	1.7	1.2	0.9	0.6	0.4



図I-10 一人一日あたりの集団回収量の将来予測

## 8) ごみ排出量のまとめ

以上の推計結果をまとめると表I-12および表I-13となります。

ごみ排出量のまとめ（実績値）は、前計画の基準年度である平成19年度と新計画の基準年度である平成26年度を色付きで示しています。実績値は災害廃棄物の処理処分状況などを考慮し、一部の項目は計算による推計値もしくは別項目の数値などで置換えています。

次ページにごみ排出量のまとめ（推計値）を示します。新計画での中間目標年度である平成34年度と、長期目標年度である平成42年度を色付きで示しています。それぞれの項目については推計方法もしくは算定式を併記しています。

表I-13 ごみ排出量のまとめ（実績値）

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
計画収集人口		人	18,091	17,823	17,796	17,538	17,167	16,879	16,793	16,462	16,200	15,914	
排出量	収集ごみ	t/年	3,938	5,692	5,587	4,923	4,944	5,181	4,534	4,266	4,216	4,158	
	燃えるごみ	t/年	3,118	4,758	4,643	4,220	4,326	4,594	4,092	3,815	3,781	3,749	
	燃やさないごみ	t/年	161	256	272	136	141	145	82	84	73	68	
	資源ごみ	t/年	537	511	527	402	369	337	300	294	279	260	
	粗大ごみ	t/年	122	167	145	165	108	105	44	51	64	57	
	その他のごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	16	22	19	(24)	
	直接搬入ごみ	t/年	2,133	711	787	(1,175)	1,002	1,012	1,391	1,135	914	948	
	燃えるごみ	t/年	1,555	176	174	[654]	377	415	629	160	193	186	
	燃やさないごみ	t/年	122	0	0	45	68	60	74	11	18	15	
	資源ごみ	t/年	0	0	0	[0]	0	0	0	15	18	24	
	粗大ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	164	96	102	109	
	埋立ごみ	t/年	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他のごみ	t/年	0	535	613	[476]	557	537	524	853	583	614	
	合	計	t/年	6,071	6,403	6,374	(6,098)	5,946	6,193	5,925	5,401	5,130	5,106
	燃えるごみ	t/年	4,673	4,934	4,817	(4,874)	4,703	5,009	4,721	3,975	3,974	3,935	
	燃やさないごみ	t/年	283	256	272	181	209	205	156	95	91	83	
	資源ごみ	t/年	537	511	527	402	369	337	300	309	297	284	
	粗大ごみ	t/年	122	167	145	165	108	105	208	147	166	166	
	埋立ごみ	t/年	456	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他のごみ	t/年	0	535	613	(476)	557	537	540	875	602	638	
	集団回収	t/年	643	642	642	545	469	446	381	387	324	277	
	排出源別搬出量	t/年	6,071	6,403	6,374	6,098	5,946	6,193	5,925	5,401	5,130	5,106	
	生活系ごみ	t/年	3,938	4,670	4,629	4,953	4,524	4,696	4,465	4,036	3,368	3,348	
事業系ごみ	t/年	2,133	1,733	1,745	1,145	1,422	1,497	1,460	1,365	1,762	1,758		
一人一日当たりの排出量	収集ごみ	g/人日	596	873	860	769	789	839	740	710	713	714	
	燃えるごみ	g/人日	472	729	715	659	690	744	668	635	639	644	
	燃やさないごみ	g/人日	24	39	42	21	23	23	13	14	12	12	
	資源ごみ	g/人日	81	78	81	63	59	55	49	49	47	45	
	粗大ごみ	g/人日	18	26	22	26	17	17	7	8	11	10	
	その他のごみ	g/人日	0	0	0	0	0	0	3	4	3	4	
	直接搬入ごみ	g/人日	323	109	121	184	160	164	227	189	155	163	
	燃えるごみ	g/人日	235	27	27	102	60	67	103	27	33	32	
	燃やさないごみ	g/人日	18	0	0	7	11	10	12	2	3	3	
	資源ごみ	g/人日	0	0	0	0	0	0	0	2	3	4	
	粗大ごみ	g/人日	0	0	0	0	0	0	27	16	17	19	
	埋立ごみ	g/人日	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他のごみ	g/人日	0	82	94	74	89	87	85	142	99	105	
	合	計	g/人日	919	982	981	953	949	1,002	967	899	868	877
	燃えるごみ	g/人日	708	756	742	761	751	811	770	662	672	676	
	燃やさないごみ	g/人日	43	39	42	28	33	33	25	16	15	14	
	資源ごみ	g/人日	81	78	81	63	59	55	49	51	50	49	
	粗大ごみ	g/人日	18	26	22	26	17	17	34	24	28	29	
	埋立ごみ	g/人日	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他のごみ	g/人日	0	82	94	74	89	87	88	146	102	110	
	集団回収	g/人日	97	98	99	85	75	72	62	64	55	48	
	排出源別原単位	g/人日	919	982	981	953	949	1,002	967	899	868	877	
	生活系ごみ	g/人日	596	716	713	774	722	760	728	672	570	575	
事業系ごみ	g/人日	323	266	269	179	227	243	238	227	298	303		

[出典] ごみ処理の概要(平成18～26年度 環境省)、災害廃棄物の処理処分状況(平成21年度 環境省) 上郡町住民課調べ(平成18～27年度)

[備考] ( )…計算による推計値、[ ]…別項目などの数値を代入した推計値

区分は環境省の表記に従っています。可燃ごみは「燃えるごみ」、不燃ごみは「燃やさないごみ」、その他のごみは上郡町の場合は「埋立ごみ」に対応しています。

表I-14 ごみ排出量のまとめ (推計値)

計画収集人口	人	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
トレンド推計(指数)	P	15,762	15,539	15,318	15,101	14,886	14,675	14,467	14,261	14,059	13,859	13,662	13,468	13,277	13,089	12,903
収集ごみ	G	4,107	4,049	3,991	3,945	3,879	3,824	3,769	3,726	3,663	3,611	3,560	3,519	3,460	3,410	3,362
燃えるごみ	GC	3,703	3,651	3,599	3,557	3,497	3,448	3,399	3,360	3,303	3,256	3,210	3,173	3,119	3,075	3,031
燃やさないごみ	GN	67	66	65	65	63	63	62	61	60	59	58	58	57	56	55
資源ごみ	GR	257	253	250	247	243	239	236	233	229	226	223	220	216	213	210
粗大ごみ	GL	56	56	55	54	53	52	52	51	50	50	49	48	47	47	46
その他のごみ	GL	24	23	23	23	22	22	22	22	21	21	21	20	20	20	19
直接搬入ごみ	L	936	923	910	900	884	872	859	850	835	823	812	802	789	778	767
燃えるごみ	LC	184	181	179	176	174	171	169	167	164	162	159	157	155	153	150
燃やさないごみ	LN	15	15	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	12	12	12
資源ごみ	LR	24	23	23	23	22	22	22	22	21	21	21	21	20	20	19
粗大ごみ	LR	108	106	105	103	102	100	99	98	96	95	93	92	91	89	88
埋立ごみ	LZ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のごみ	LZ	606	598	589	583	573	565	557	550	541	533	526	520	511	504	496
合計	T	5,005	4,972	4,901	4,845	4,763	4,696	4,629	4,576	4,498	4,435	4,372	4,321	4,248	4,188	4,129
燃えるごみ	C	3,887	3,832	3,777	3,734	3,671	3,619	3,567	3,526	3,467	3,418	3,369	3,330	3,274	3,228	3,182
燃やさないごみ	N	82	81	80	79	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67
資源ごみ	R	242	237	233	229	225	221	217	213	209	205	201	197	193	189	185
粗大ごみ	L	164	162	159	158	155	153	150	149	146	144	142	140	138	136	134
埋立ごみ	Z	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のごみ	Z	630	621	612	605	595	587	578	572	562	554	546	540	531	523	516
集回回収	G	268	243	220	201	182	165	149	136	123	112	101	92	83	76	69
排出源別搬出量	T	5,048	4,977	4,906	4,850	4,767	4,700	4,633	4,580	4,503	4,439	4,375	4,326	4,253	4,192	4,132
生活系ごみ	TL	3,307	3,260	3,214	3,177	3,123	3,079	3,035	3,000	2,950	2,908	2,866	2,834	2,786	2,746	2,707
事業系ごみ	TB	1,741	1,717	1,692	1,673	1,644	1,621	1,598	1,580	1,553	1,531	1,509	1,492	1,467	1,446	1,425
収集ごみ	g	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714
燃えるごみ	gc	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644
燃やさないごみ	gn	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
資源ごみ	gr	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
粗大ごみ	gl	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
その他のごみ	gz	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
直接搬入ごみ	l	163	163	163	163	163	163	163	163	163	163	163	163	163	163	163
燃えるごみ	lc	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
燃やさないごみ	ln	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
資源ごみ	lr	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
粗大ごみ	lr	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
埋立ごみ	lz	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のごみ	lz	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105
合計	t	870	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877
燃えるごみ	c	676	676	676	676	676	676	676	676	676	676	676	676	676	676	676
燃やさないごみ	n	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
資源ごみ	r	42	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49
粗大ごみ	l	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
埋立ごみ	z	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のごみ	z	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
集回回収	g	47	43	39	36	33	31	28	26	24	22	20	19	17	16	15
排出源別原単位	t	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877	877
生活系ごみ	tl	575	575	575	575	575	575	575	575	575	575	575	575	575	575	575
事業系ごみ	tb	303	303	303	303	303	303	303	303	303	303	303	303	303	303	303

排出量

一人一日当たりの排出量

9) ごみ排出量の削減目標

ごみ削減目標を考慮した排出量を表I-15及び表I-16に示します。

目標達成のために、よりいっそうのごみ削減を設定した項目は数値を赤字で示しています。

資源回収の向上に努めるとした項目は数値を青字で示しています。

表I-15 ごみ排出量の削減目標 (平成34年度までの値)

				H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
計画収集人口		人	トレンド推計(指数)	P	15,762	15,539	15,318	15,101	14,886	14,675	14,467
排出量	収集ごみ	t/年	GC+GN+GR+GL+GO	GT	4,093	4,021	3,951	3,892	3,813	3,746	3,680
	燃えるごみ	t/年	gc*P*D/1000/1000	GC	3,678	3,601	3,525	3,460	3,378	3,307	3,237
	燃やさないごみ	t/年	gn*P*D/1000/1000	GN	67	66	65	64	63	61	60
	資源ごみ	t/年	gr*P*D/1000/1000	GR	271	280	290	300	307	316	324
	粗大ごみ	t/年	gl*P*D/1000/1000	GL	54	51	48	45	42	40	37
	その他のごみ	t/年	go*P*D/1000/1000	GO	24	23	23	23	22	22	21
	直接搬入ごみ	t/年	LC+LN+LR+LL+LZ+LO	LT	936	923	910	900	884	872	859
	燃えるごみ	t/年	lc*P*D/1000/1000	LC	183	181	178	176	172	170	167
	燃やさないごみ	t/年	ln*P*D/1000/1000	LN	15	15	14	14	14	14	13
	資源ごみ	t/年	lr*P*D/1000/1000	LR	25	25	25	26	26	27	27
	粗大ごみ	t/年	ll*P*D/1000/1000	LL	108	106	104	103	101	99	98
	埋立ごみ	t/年	lz*P*D/1000/1000	LZ	0	0	0	0	0	0	0
	その他のごみ	t/年	lo*P*D/1000/1000	LO	606	597	588	581	571	562	554
	合計	t/年	C+N+R+L+Z+O	T	5,030	4,944	4,861	4,791	4,697	4,617	4,539
	燃えるごみ	t/年	GC+LC	C	3,861	3,781	3,703	3,636	3,551	3,477	3,404
	燃やさないごみ	t/年	GN+LN	N	82	80	79	78	76	75	74
	資源ごみ	t/年	GR+LR	R	295	305	315	325	334	342	351
	粗大ごみ	t/年	GL+LL	L	162	157	152	148	143	139	135
	埋立ごみ	t/年	LZ	Z	0	0	0	0	0	0	0
	その他のごみ	t/年	GO+LO	O	630	620	611	604	593	584	575
集団回収	t/年	g*P*D/1000/1000	G	270	247	226	208	190	175	161	
排出源別搬出量	t/年	TL+TB	T	5,030	4,941	4,853	4,780	4,682	4,598	4,516	
生活系ごみ	t/年	tl*P*D/1000/1000	TL	3,293	3,232	3,173	3,123	3,057	3,001	2,945	
事業系ごみ	t/年	tb*P*D/1000/1000	TB	1,737	1,708	1,680	1,656	1,625	1,598	1,571	
一人一日当たりの排出量	収集ごみ	g/人日	横ばい推計	gt	711	709	707	704	702	699	697
	燃えるごみ	g/人日	横ばい推計	gc	639	635	631	626	622	617	613
	ごみ分別の情報提供の充実	g/人日	-一人一日当たり-27.6グラムの削減	R1	-1.8	-3.7	-5.5	-7.4	-9.2	-11.1	-12.9
	古紙類の回収	g/人日	-一人一日当たり-7.1グラムの削減	R2	-0.5	-0.9	-1.4	-1.9	-2.4	-2.8	-3.3
	燃えるごみ減量施策	g/人日	-一人一日当たり-31グラムの削減	R3	-2.1	-4.1	-6.2	-8.3	-10.3	-12.4	-14.5
	燃やさないごみ	g/人日	横ばい推計	gn	12	12	12	12	12	11	11
	ごみ分別の情報提供の充実	g/人日	-一人一日当たり-0.5グラムの削減	R1	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.2
	資源ごみ	g/人日	横ばい推計	gr	47	49	52	54	57	59	61
	ごみ分別の情報提供の充実	g/人日	-一人一日当たり28.7グラムの増量	R1	1.9	3.8	5.7	7.7	9.6	11.5	13.4
	古紙類の回収	g/人日	-一人一日当たり7.1グラムの増量	R2	0.5	0.9	1.4	1.9	2.4	2.8	3.3
	粗大ごみ	g/人日	横ばい推計	gl	9	9	9	8	8	7	7
	ごみ分別の情報提供の充実	g/人日	-一人一日当たり-0.4グラムの削減	R1	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2
	家庭不用品交換の実践	g/人日	-一人一日当たり-5.5グラムの削減	R4	-0.4	-0.7	-1.1	-1.5	-1.8	-2.2	-2.6
	その他のごみ	g/人日	横ばい推計	go	4	4	4	4	4	4	4
	ごみ分別の情報提供の充実	g/人日	-一人一日当たり-0.2グラムの削減	R1	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1
	直接搬入ごみ	g/人日	横ばい推計	lt	163	163	163	163	163	163	163
	燃えるごみ	g/人日	横ばい推計	lc	32	32	32	32	32	32	32
	直接搬入ごみの削減	g/人日	-一人一日当たり-0.6グラムの削減	R7	-0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.3	-0.3
	燃やさないごみ	g/人日	横ばい推計	ln	3	3	3	3	3	3	3
	直接搬入ごみの削減	g/人日	-一人一日当たり-0.1グラムの削減	R7	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0
資源ごみ	g/人日	横ばい推計	lr	4	4	5	5	5	5	5	
直接搬入ごみの削減	g/人日	-一人一日当たり2.1グラムの増量	R7	0.1	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	1.0	
粗大ごみ	g/人日	横ばい推計	ll	19	19	19	19	19	19	19	
直接搬入ごみの削減	g/人日	-一人一日当たり-0.4グラムの削減	R7	-0.0	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	
埋立ごみ	g/人日	横ばい推計	lz	0	0	0	0	0	0	0	
その他のごみ	g/人日	横ばい推計	lo	105	105	105	105	105	105	105	
直接搬入ごみの削減	g/人日	-一人一日当たり-1.1グラムの削減	R7	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3	-0.4	-0.4	-0.5	
合計	g/人日	横ばい推計	t	874	872	869	867	864	862	860	
燃えるごみ	g/人日	横ばい推計	c	671	667	662	658	653	649	645	
燃やさないごみ	g/人日	横ばい推計	n	14	14	14	14	14	14	14	
資源ごみ	g/人日	横ばい推計	r	51	54	56	59	61	64	66	
粗大ごみ	g/人日	横ばい推計	l	28	28	27	27	26	26	26	
埋立ごみ	g/人日	横ばい推計	z	0	0	0	0	0	0	0	
その他のごみ	g/人日	横ばい推計	o	109	109	109	109	109	109	109	
集団回収	g/人日	指数推計	g	47	43	40	38	35	33	31	
集団回収の啓発と推進	g/人日	-一人一日当たり4.8グラムの増量	R6	0.3	0.6	1.0	1.3	1.6	1.9	2.2	
排出源別原単位	g/人日	横ばい推計	t	874	871	868	865	862	858	855	
生活系ごみ	g/人日	横ばい推計	tl	572	570	568	565	563	560	558	
燃えるごみ減量施策	g/人日	-一人一日当たり-31グラムの削減	R3	-2.1	-4.1	-6.2	-8.3	-10.3	-12.4	-14.5	
家庭不用品交換の実践	g/人日	-一人一日当たり-5.5グラムの削減	R4	-0.4	-0.7	-1.1	-1.5	-1.8	-2.2	-2.6	
事業系ごみ	g/人日	横ばい推計	tb	302	301	300	300	299	298	298	
事業系ごみ減量施策	g/人日	-一人一日当たり-11グラムの削減	R5	-0.7	-1.5	-2.2	-2.9	-3.7	-4.4	-5.1	



表I-16 ごみ排出量の削減目標（平成35～42年度までの値）

				H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42			
計画収集人口				人	14,261	14,059	13,859	13,662	13,468	13,277	13,089	12,903		
排出量	収集ごみ			t/年	GC+GN+GR+GL+GO	GT	3,625	3,551	3,488	3,427	3,375	3,306	3,248	3,190
	燃えるごみ			t/年	gc*P*D/1000/1000	GC	3,177	3,101	3,034	2,969	2,914	2,843	2,782	2,722
	燃やさないごみ			t/年	gn*P*D/1000/1000	GN	60	58	57	56	56	54	54	53
	資源ごみ			t/年	gr*P*D/1000/1000	GR	333	339	347	354	361	367	373	379
	粗大ごみ			t/年	gl*P*D/1000/1000	GL	35	32	30	27	25	23	20	18
	その他のごみ			t/年	go*P*D/1000/1000	GO	21	21	20	20	20	19	19	19
	直接搬入ごみ			t/年	LC+LN+LR+LL+LZ+LO	LT	850	835	823	812	802	789	778	767
	燃えるごみ			t/年	lc*P*D/1000/1000	LC	165	162	159	157	155	152	150	147
	燃やさないごみ			t/年	ln*P*D/1000/1000	LN	13	13	13	13	12	12	12	12
	資源ごみ			t/年	lr*P*D/1000/1000	LR	27	28	28	28	29	29	29	29
	粗大ごみ			t/年	ll*P*D/1000/1000	LL	97	95	93	92	91	89	88	86
	埋立ごみ			t/年	lz*P*D/1000/1000	LZ	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他のごみ			t/年	lo*P*D/1000/1000	LO	547	538	530	522	515	506	499	492
	合 計			t/年	C+N+R+L+Z+O	T	4,474	4,386	4,312	4,238	4,177	4,095	4,025	3,957
	燃えるごみ			t/年	GC+LC	C	3,342	3,262	3,194	3,126	3,069	2,995	2,932	2,869
燃やさないごみ			t/年	GN+LN	N	73	71	70	69	68	67	66	65	
資源ごみ			t/年	GR+LR	R	360	367	375	382	390	396	402	408	
粗大ごみ			t/年	GL+LL	L	131	127	123	119	116	112	108	105	
埋立ごみ			t/年	LZ	Z	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他のごみ			t/年	GO+LO	O	568	558	550	542	535	526	518	510	
集団回収			t/年	g*P*D/1000/1000	G	149	138	128	119	111	103	97	91	
排出源別搬出量			t/年	TL+TB	T	4,452	4,364	4,290	4,217	4,156	4,074	4,005	3,937	
生活系ごみ			t/年	tl*P*D/1000/1000	TL	2,899	2,837	2,785	2,733	2,690	2,632	2,583	2,535	
事業系ごみ			t/年	tb*P*D/1000/1000	TB	1,553	1,527	1,505	1,484	1,467	1,442	1,421	1,401	
一人一日当たりの排出量	収集ごみ			g/人日	横ばい推計	gt	694	692	690	687	685	682	680	677
	燃えるごみ			g/人日	横ばい推計	gc	609	604	600	595	591	587	582	578
	ごみ分別の情報提供の充実			g/人日	一人一日当たり-27.6グラムの削減	R1	-14.7	-16.6	-18.4	-20.3	-22.1	-24.0	-25.8	-27.6
	古紙類の回収			g/人日	一人一日当たり-7.1グラムの削減	R2	-3.8	-4.2	-4.7	-5.2	-5.7	-6.1	-6.6	-7.1
	燃えるごみ減量施策			g/人日	一人一日当たり-31グラムの削減	R3	-16.5	-18.6	-20.7	-22.7	-24.8	-26.9	-28.9	-31.0
	燃やさないごみ			g/人日	横ばい推計	gn	11	11	11	11	11	11	11	11
	ごみ分別の情報提供の充実			g/人日	一人一日当たり-0.5グラムの削減	R1	-0.3	-0.3	-0.3	-0.4	-0.4	-0.4	-0.5	-0.5
	資源ごみ			g/人日	横ばい推計	gr	64	66	69	71	73	76	78	80
	ごみ分別の情報提供の充実			g/人日	一人一日当たり28.7グラムの増量	R1	15.3	17.2	19.2	21.1	23.0	24.9	26.8	28.7
	古紙類の回収			g/人日	一人一日当たり7.1グラムの増量	R2	3.8	4.2	4.7	5.2	5.7	6.1	6.6	7.1
	粗大ごみ			g/人日	横ばい推計	gl	7	6	6	5	5	5	4	4
	ごみ分別の情報提供の充実			g/人日	一人一日当たり-0.4グラムの削減	R1	-0.2	-0.3	-0.3	-0.3	-0.3	-0.4	-0.4	-0.4
	家庭不用品交換の実践			g/人日	一人一日当たり-5.5グラムの削減	R4	-2.9	-3.3	-3.7	-4.0	-4.4	-4.7	-5.1	-5.5
	その他のごみ			g/人日	横ばい推計	go	4	4	4	4	4	4	4	4
	ごみ分別の情報提供の充実			g/人日	一人一日当たり-0.2グラムの削減	R1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.2
	直接搬入ごみ			g/人日	横ばい推計	lt	163	163	163	163	163	163	163	163
	燃えるごみ			g/人日	横ばい推計	lc	32	32	32	31	31	31	31	31
	直接搬入ごみの削減			g/人日	一人一日当たり-0.6グラムの削減	R7	-0.3	-0.4	-0.4	-0.5	-0.5	-0.6	-0.6	-0.6
	燃やさないごみ			g/人日	横ばい推計	ln	3	3	3	3	3	3	3	3
	直接搬入ごみの削減			g/人日	一人一日当たり-0.1グラムの削減	R7	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0	-0.1
	資源ごみ			g/人日	横ばい推計	lr	5	5	6	6	6	6	6	6
	直接搬入ごみの削減			g/人日	一人一日当たり2.1グラムの増量	R7	1.1	1.3	1.4	1.6	1.7	1.8	2.0	2.1
	粗大ごみ			g/人日	横ばい推計	ll	19	18	18	18	18	18	18	18
	直接搬入ごみの削減			g/人日	一人一日当たり-0.4グラムの削減	R7	-0.2	-0.2	-0.2	-0.3	-0.3	-0.3	-0.3	-0.4
	埋立ごみ			g/人日	横ばい推計	lz	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他のごみ			g/人日	横ばい推計	lo	105	105	105	105	105	105	104	104
	直接搬入ごみの削減			g/人日	一人一日当たり-1.1グラムの削減	R7	-0.6	-0.6	-0.7	-0.8	-0.8	-0.9	-1.0	-1.1
	合 計			g/人日	横ばい推計	t	857	855	852	850	847	845	843	840
	燃えるごみ			g/人日	横ばい推計	c	640	636	631	627	623	618	614	609
	燃やさないごみ			g/人日	横ばい推計	n	14	14	14	14	14	14	14	14
資源ごみ			g/人日	横ばい推計	r	69	72	74	77	79	82	84	87	
粗大ごみ			g/人日	横ばい推計	l	25	25	24	24	23	23	23	22	
埋立ごみ			g/人日	横ばい推計	z	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他のごみ			g/人日	横ばい推計	o	109	109	109	109	109	108	108	108	
集団回収			g/人日	指数推計	g	29	27	25	24	23	21	20	19	
集団回収の啓発と推進			g/人日	一人一日当たり4.8グラムの増量	R6	2.5	2.9	3.2	3.5	3.8	4.1	4.4	4.8	
排出源別原単位			g/人日	横ばい推計	t	853	850	848	846	843	841	838	836	
生活系ごみ			g/人日	横ばい推計	tl	555	553	550	548	546	543	541	538	
燃えるごみ減量施策			g/人日	一人一日当たり-31グラムの削減	R3	-16.5	-18.6	-20.7	-22.7	-24.8	-26.9	-28.9	-31.0	
家庭不用品交換の実践			g/人日	一人一日当たり-5.5グラムの削減	R4	-2.9	-3.3	-3.7	-4.0	-4.4	-4.7	-5.1	-5.5	
事業系ごみ			g/人日	横ばい推計	tb	298	298	298	298	298	298	298	298	
事業系ごみ減量施策			g/人日	一人一日当たり-11グラムの削減	R5	-5.1	-5.1	-5.1	-5.1	-5.1	-5.1	-5.1	-5.1	

【備考】ごみ削減並びに資源回収の向上に努めるとした項目は、目標値を下記の通り定めています。

- R1…ごみ分別の情報提供の充実（生活系ごみの5%を分別）
- R2…古紙類の回収（燃えるごみの1%を分別）
- R3…燃えるごみ減量施策（平成34年度に3404トン以下を達成）
- R4…家庭不用品交換の実践（500g重量の交換を年4回実施）
- R5…事業系ごみ減量施策（平成34年度に1,401トン以下を達成）
- R6…集団回収の啓発と推進（基準年度よりも10%増加）
- R7…直接搬入ごみの削減（基準年度よりも2%減量）



## 資料II 生活排水（し尿）の将来推計

### 1. 推計の方法

生活排水（し尿）についての実績値と将来予測値を表II-1から表II-3に示します。し尿及び浄化槽汚泥の収集量は近年では微減もしくは一定と予測されています。従って、目標値については特に定めていませんが、基準年度などを網掛けで示しています。

表II-1 生活排水（し尿）の実績値

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
計画収集人口	人	18,091	17,823	17,796	17,538	17,167	16,879	16,793	16,462	16,200	15,914
非水洗化人口	人	3,698	2,978	2,372	1,984	1,816	1,544	1,305	1,242	1,186	1,108
計画収集人口	人	3,638	2,918	2,312	1,924	1,756	1,484	1,245	1,183	1,128	1,108
自家処理人口	人	60	60	60	60	60	60	60	59	58	0
水洗化人口	人	14,393	14,845	15,424	15,554	15,351	15,335	15,488	15,220	15,014	14,806
公共下水道人口	人	9,851	10,377	10,999	11,165	11,048	11,114	11,316	11,097	10,968	10,825
コミュニティプラント人口	人	665	638	632	642	648	621	603	591	596	595
合併処理浄化槽人口	人	3,877	3,830	3,793	3,747	3,655	3,600	3,569	3,532	3,450	3,386
非水洗化率	%	20.4%	16.7%	13.3%	11.3%	10.6%	9.1%	7.8%	7.5%	7.3%	7.0%
計画収集	%	20.1%	16.4%	13.0%	11.0%	10.2%	8.8%	7.4%	7.2%	7.0%	7.0%
自家処理	%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%
水洗化率	%	79.6%	83.3%	86.7%	88.7%	89.4%	90.9%	92.2%	92.5%	92.7%	93.0%
公共下水道	%	54.5%	58.2%	61.8%	63.7%	64.4%	65.8%	67.4%	67.4%	67.7%	68.0%
コミュニティプラント	%	3.7%	3.6%	3.6%	3.7%	3.8%	3.7%	3.6%	3.6%	3.7%	3.7%
合併浄化槽	%	21.4%	21.5%	21.3%	21.4%	21.3%	21.3%	21.3%	21.5%	21.3%	21.3%
し尿収集量	kl/年	5,048	4,558	3,477	2,423	2,263	2,299	2,176	2,213	2,047	2,140
委託	kl/年	2,067	1,521	1,112	857	756	687	634	606	544	527
し尿	kl/年	2,067	1,521	1,112	857	756	687	634	606	544	527
浄化槽汚泥	kl/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
許可	kl/年	2,981	3,037	2,365	1,566	1,507	1,612	1,542	1,607	1,503	1,613
し尿	kl/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浄化槽汚泥	kl/年	2,981	3,037	2,365	1,566	1,507	1,612	1,542	1,607	1,503	1,613
合計	kl/年	5,048	4,558	3,477	2,423	2,263	2,299	2,176	2,213	2,047	2,140
し尿	kl/年	2,067	1,521	1,112	857	756	687	634	606	544	527
浄化槽汚泥	kl/年	2,981	3,037	2,365	1,566	1,507	1,612	1,542	1,607	1,503	1,613
し尿処理量	kl/年	5,060	4,570	3,489	2,435	2,275	2,311	2,188	2,221	2,074	2,140
し尿処理施設	kl/年	5,048	4,558	3,477	2,423	2,263	2,299	2,176	2,213	2,047	2,140
し尿	kl/年	2,067	1,521	1,112	857	756	687	634	606	544	527
浄化槽汚泥	kl/年	2,981	3,037	2,365	1,566	1,507	1,612	1,542	1,607	1,503	1,613
自家処理量	kl/年	12	12	12	12	12	12	12	8	27	0
し尿	kl/年	12	12	12	12	12	12	12	8	27	0
浄化槽汚泥	kl/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表II-2 生活排水（し尿）の将来推計（平成34年度までの値）

				H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
計画収集人口	人	トレンド推計(指数)	P	15,762	15,539	15,318	15,101	14,886	14,675	14,467
非水洗化人口	人	P-W	NW	1,086	1,063	1,039	1,015	990	965	939
計画収集人口	人	NW-NF	NV	1,086	1,063	1,039	1,015	990	965	939
自家処理人口	人	ゼロ	NF	0	0	0	0	0	0	0
水洗化人口	人	WP+WC+WT	W	14,676	14,476	14,279	14,086	13,896	13,710	13,527
公共下水道人口	人	P*RP	WP	10,722	10,570	10,420	10,272	10,126	9,982	9,840
コミュニティプラント人口	人	トレンド推計(対数)	WC	584	578	572	567	561	556	551
合併処理浄化槽人口	人	トレンド推計(対数)	WT	3,370	3,328	3,287	3,247	3,209	3,172	3,136
非水洗化率	%	NW/P	RN	6.9%	6.8%	6.8%	6.7%	6.6%	6.6%	6.5%
計画収集	%	NV/P	RV	6.9%	6.8%	6.8%	6.7%	6.6%	6.6%	6.5%
自家処理	%	NF/P	RF	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
水洗化率	%	W/P	RW	93.1%	93.2%	93.2%	93.3%	93.4%	93.4%	93.5%
公共下水道	%	トレンド推計(横ばい)	RP	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%
コミュニティプラント	%	WC/P	RC	3.7%	3.7%	3.7%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%
合併浄化槽	%	WT/P	RT	21.4%	21.4%	21.5%	21.5%	21.6%	21.6%	21.7%
し尿収集量	kl/年	GT	GT*	2,075	2,059	2,043	2,028	2,014	2,000	1,986
委託	kl/年	GP+TS	GI	511	495	479	464	450	436	422
し尿	kl/年	最新年度の減少率で推移	GP	511	495	479	464	450	436	422
浄化槽汚泥	kl/年	ゼロ	TS	0	0	0	0	0	0	0
許可	kl/年	TP+GS	GK	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564
し尿	kl/年	ゼロ	TP	0	0	0	0	0	0	0
浄化槽汚泥	kl/年	直近7年度の平均値で推移	GS	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564
合計	kl/年	GP+GS	GT	2,075	2,059	2,043	2,028	2,014	2,000	1,986
し尿	kl/年	GP+TP	GP	511	495	479	464	450	436	422
浄化槽汚泥	kl/年	TS+GS	GS	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564
し尿処理量	kl/年	PT+ST	PT*	2,075	2,059	2,043	2,028	2,014	2,000	1,986
し尿処理施設	kl/年	PP+PS	PT	2,075	2,059	2,043	2,028	2,014	2,000	1,986
し尿	kl/年	GP	PP	511	495	479	464	450	436	422
浄化槽汚泥	kl/年	GS	PS	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564
自家処理量	kl/年	ゼロ	ST	0	0	0	0	0	0	0
し尿	kl/年	ゼロ	SP	0	0	0	0	0	0	0
浄化槽汚泥	kl/年	ゼロ	SS	0	0	0	0	0	0	0

表II-3 生活排水（し尿）の将来推計（平成35～42年度までの値）

				H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
計画収集人口	人	トレンド推計(指数)	P	14,261	14,059	13,859	13,662	13,468	13,277	13,089	12,903
非水洗化人口	人	P-W	NW	913	887	861	835	809	783	756	730
計画収集人口	人	NW-NF	NV	913	887	861	835	809	783	756	730
自家処理人口	人	ゼロ	NF	0	0	0	0	0	0	0	0
水洗化人口	人	WP+WC+WT	W	13,348	13,171	12,998	12,827	12,660	12,495	12,333	12,173
公共下水道人口	人	P*RP	WP	9,701	9,563	9,427	9,293	9,162	9,031	8,903	8,777
コミュニティプラント人口	人	トレンド推計(対数)	WC	546	541	537	532	528	523	519	515
合併処理浄化槽人口	人	トレンド推計(対数)	WT	3,101	3,067	3,034	3,002	2,971	2,940	2,910	2,881
非水洗化率	%	NW/P	RN	6.4%	6.3%	6.2%	6.1%	6.0%	5.9%	5.8%	5.7%
計画収集	%	NV/P	RV	6.4%	6.3%	6.2%	6.1%	6.0%	5.9%	5.8%	5.7%
自家処理	%	NF/P	RF	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
水洗化率	%	W/P	RW	93.6%	93.7%	93.8%	93.9%	94.0%	94.1%	94.2%	94.3%
公共下水道	%	トレンド推計(横ばい)	RP	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%
コミュニティプラント	%	WC/P	RC	3.8%	3.8%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	4.0%	4.0%
合併浄化槽	%	WT/P	RT	21.7%	21.8%	21.9%	22.0%	22.1%	22.1%	22.2%	22.3%
し尿収集量	kl/年	GT	GT'	1,973	1,960	1,948	1,936	1,924	1,913	1,902	1,892
委託	kl/年	GP+TS	GI	409	396	384	372	360	349	338	327
し尿	kl/年	最新年度の減少率で推移	GP	409	396	384	372	360	349	338	327
浄化槽汚泥	kl/年	ゼロ	TS	0	0	0	0	0	0	0	0
許可	kl/年	TP+GS	GK	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564
し尿	kl/年	ゼロ	TP	0	0	0	0	0	0	0	0
浄化槽汚泥	kl/年	直近7年度の平均値で推移	GS	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564
合計	kl/年	GP+GS	GT	1,973	1,960	1,948	1,936	1,924	1,913	1,902	1,892
し尿	kl/年	GP+TP	GP	409	396	384	372	360	349	338	327
浄化槽汚泥	kl/年	TS+GS	GS	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564
し尿処理量	kl/年	PT+ST	PT'	1,973	1,960	1,948	1,936	1,924	1,913	1,902	1,892
し尿処理施設	kl/年	PP+PS	PT	1,973	1,960	1,948	1,936	1,924	1,913	1,902	1,892
し尿	kl/年	GP	PP	409	396	384	372	360	349	338	327
浄化槽汚泥	kl/年	GS	PS	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564	1,564
自家処理量	kl/年	ゼロ	ST	0	0	0	0	0	0	0	0
し尿	kl/年	ゼロ	SP	0	0	0	0	0	0	0	0
浄化槽汚泥	kl/年	ゼロ	SS	0	0	0	0	0	0	0	0